

クロラントラニリプロール（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことなどから、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、先般の審議からの変更点を取りまとめる。

1. 概要

- （1）品目名：クロラントラニリプロール[Chlorantraniliprole (ISO)]
- （2）分類（用途）：農薬（殺虫剤）
- （3）化学名、CAS番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料参照）

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用法は、別紙1のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用法は網掛けとしている。

3. 代謝試験

（1）植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、りんご、レタス、トマト及び綿で実施されており、可食部での主要残留物は親化合物で、10%TRR^注以上認められた代謝物はなかった。

注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

（2）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、産卵鶏の筋肉以外の組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物C（産卵鶏の卵黄）、代謝物D（泌乳山羊の乳）、代謝物E（産卵鶏の卵黄）、代謝物G（泌乳山羊の乳）及び代謝物N（産卵鶏の卵白）であった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
C	IN-H2H20	3-ブロモ-N-{4-クロロ-2-[(ヒドロキシメチル)カルバモイル]-6-メチルフェニル}-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキシアミド
D	IN-HXH44	3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキシアミド
E	IN-K7H29	2-[3-ブロモ-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-(ヒドロキシメチル)キナゾリン-4(1 <i>H</i>)-オン

【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
G	IN-K9T00	3-ブromo-N-{4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(ヒドロキシメチル)カルバモイル]フェニル}-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキシアミド
M	IN-F9N04	3-ブromo-N-(2-カルバモイル-4-クロロ-6-メチルフェニル)-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキシアミド
N	IN-GAZ70	2-[3-ブromo-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-メチルキナゾリン-4(1 <i>H</i>)-オン
O	IN-EQW78	2-[3-ブromo-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-3,8-ジメチルキナゾリン-4(3 <i>H</i>)-オン

4. 作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・クロラントラニプロール

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、酢酸エチルに転溶後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル（SAX）カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、水を加えて磨砕した試料からアセトニトリルで抽出し、塩化ナトリウム及び0.5 mol/Lリン酸緩衝液（pH 7.0）を加えて塩析する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C₁₈）カラム及びグラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル（NH₂）積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出し、酢酸エチルに転溶する。グラファイトカーボン/SAX/エチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

または、必要に応じて試料に水を加え、アセトニトリルで抽出し、塩化ナトリウム及びリン酸緩衝液による塩析並びにヘキサン洗浄を行う。グラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラムを用いて精製し、直接又はグラファイトカーボン/NH₂/シリカゲル積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、水を加えて磨砕した試料からアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/NH₂積層カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、塩化ナトリウム及びリン酸緩衝液を加えて塩析する。グラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、C₁₈カラム、スチレンジビニルベンゼン共

重合体カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、LC-MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、グラファイトカーボン/PSA積層カラム又はグラファイトカーボン/ NH_2 積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

あるいは、試料に水を加えアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/ NH_2 積層カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

定量限界 0.01～0.05 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

- ・クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

試料に0.1%ギ酸を加え静置し、アセトニトリルで抽出後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界 0.01 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、レタス等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。

海外作物残留試験については、大豆（ブラジル）の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-2～2-5に示す。

5. 魚介類における推定残留濃度 変更なし（添付資料参照）

6. 畜産物における推定残留濃度 変更なし（添付資料参照）

7. 許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価において、クロラントラニリプロールのADIを1.5 mg/kg体重/日、ARfDは設定の必要なしと評価されている。

8. 諸外国における状況

変更なし（添付資料参照）

なお、国際基準は、2021年及び2023年にアボカド、茶等に基準値が設定されている。

9. 残留規制

(1) 残留の規制対象：変更なし

クロラントラニリプロールとする。

農産物については、植物代謝試験において可食部での主な残留物は親化合物であり、10%TRR以上認められる代謝物はなかった。

畜産物については、家畜代謝試験において筋肉以外のすべての組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められた。いくつかの代謝物が10%TRR以上認められたが、分析の指標としては親化合物のみで十分であると考えられる。

これらのことから、規制対象はクロラントラニリプロールのみとする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

10. 暴露評価

(1) 暴露評価対象：変更なし

クロラントラニリプロールとする。

農産物については、植物代謝試験において可食部での主な残留物は親化合物であり、10%TRR以上認められる代謝物はなかった。

畜産物については、家畜代謝試験において筋肉以外のすべての組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められた。卵全体で代謝物N、乳で代謝物D及び代謝物Gが10%TRR以上認められた。卵黄で代謝物C及び代謝物Eが10%TRR以上認められたが、卵全体では10%TRR未満であった。家畜残留試験においては、乳牛では高投与量以外では親化合物が主要な残留物だが、産卵鶏では親化合物より代謝物の残留量が多い組織もみられた。しかしながら、JMPR評価書によれば、いずれの代謝物も毒性面での懸念はなく、親化合物も代謝物も生体内から急速に消失し、毒性も低いと考えられる。

以上のことに加え、JMPRの評価において、農産物及び畜産物の暴露評価対象はクロラントラニリプロールのみであることを踏まえ、暴露評価対象はクロラントラニリプロールのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をクロラントラニリプロール(親化合物のみ)としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	1.5
幼小児 (1～6歳)	2.6
妊婦	1.4
高齢者 (65歳以上)	1.7

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
稲	1.5% WG 配合剤1	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	500 g/10 a	移植時	—	1回	1回
	0.75% GR 配合剤2	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤3	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤4	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤5	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤6	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤7	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤8	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤9	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤10	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤11	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤12	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤13	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤14	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤15	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
稲(箱育苗)	50.0% SC	種子吹き付け処理 又は塗沫処理	乾燥種もみ1 kg当たり 原液4～7 mL	は種前浸種前	—	1回	1回
	1.0% GR	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日	—	1回	
	0.75% GR	育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回	
				は種時覆土前～ 移植当日	—	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植当日			
				育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g			

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	25.0% WG 配合剤16	土壌灌注	1000倍	は種時	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり 希釈液1 L	1回	1回	
				は種時～出芽時 ただし、移植 15日前まで				
			500倍	は種時	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり 希釈液500 mL			
				は種時～出芽時 ただし、移植 15日前まで				
	0.75% GR 配合剤2	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～ 移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日				
				は種時覆土前～ 移植当日				
				移植3日前～ 移植当日				
	0.75% GR 配合剤3	育苗箱の苗の上か ら均一に散布 する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤4	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日				
				は種時覆土前				
				は種時覆土前～ 移植当日				
	0.75% GR 配合剤5	育苗箱の床土又は 覆土に均一に混和 する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
			高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前				
				は種時覆土前～ 移植当日				
				は種時覆土前				
	0.75% GR 配合剤6	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g					

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤7	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g					
	0.75% GR 配合剤8	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	緑化期～移植当日				
				移植3日前～ 移植当日				
				緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤9	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	緑化期～移植当日				
				移植3日前～ 移植当日				
				緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤10	本剤の所定量を育苗箱の床土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g					
		本剤の所定量を育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g					
		本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。		高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時(覆土前)～ 移植当日	—		1回
					は種時(覆土前)			
					移植3日前～ 移植当日			
					移植当日			
					緑化期～移植当日			
					は種時(覆土前)～ 移植当日			
					は種時覆土前			
					移植3日前～ 移植当日			
					移植当日			
					緑化期～移植当日			

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリブ ロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤11	育苗箱の床土又は 覆土に均一に混和 する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
		育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時(覆土前)～移 植当日			
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日			
				は種時(覆土前)～移 植当日			
				移植当日			
	0.75% GR 配合剤12	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日			
				移植3日前～ 移植当日			
				移植当日			
		緑化期～移植当日					
			0.75% GR 配合剤13	育苗箱の上から均 一に散布する。			
	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g						
	0.75% GR 配合剤14	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤15	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤17	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～ 移植当日	—	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日			
				移植3日前～ 移植当日			
			0.75% GR 配合剤18	育苗箱の上から均一に散布する。			
	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g						
	0.75% GR 配合剤19	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日			
				移植当日			
			0.75% GR 配合剤20	育苗箱の上から均一に散布する。			
	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g						
	0.75% GR 配合剤21	育苗箱の床土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日			
は種時覆土前							
は種時覆土前～ 移植当日							

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤22	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土後～移植当日	—	1回	1回	
				移植当日				
				緑化期～移植当日				
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土後～移植当日				
				は種時覆土後～緑化始期				
				移植当日				
				緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤23	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
				は種時覆土前	—	1回		
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～移植当日				
				移植当日				
	0.75% GR 配合剤24	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
				移植3日前～移植当日	—	1回		
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日				
				は種時覆土前～移植当日				
				移植当日				
	0.75% GR 配合剤25	育苗培土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
		育苗箱の床土に均一に混和する。						
		育苗箱の床土に均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前				
								育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g
	0.75% GR 配合剤26	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～当日	—	1回		
	0.75% GR 配合剤27	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回		
は種時覆土前～移植当日								
育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g			移植3日前～移植当日					

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	0.75% GR 配合剤28	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	－	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	緑化期～移植当日			
	0.75% GR 配合剤29	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
				緑化期～移植当日			
	0.75% GR 配合剤30	育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～移植当日	－	1回	
	0.75% GR 配合剤31	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植当日	－	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～移植当日			
	0.75% GR 配合剤32	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種前	－	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～移植当日			
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～移植当日			
	0.75% GR 配合剤33	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50～100 g)	移植当日	－	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～移植当日			
湛水直播水稻	0.75% GR 配合剤12	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	－	1回	1回
	0.75% GR 配合剤13	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	－	1回	
直播水稻	50.0% SC	種子吹き付け処理又は塗沫処理	乾燥種もみ1 kg 当たり原液4～7 mL	は種前	－	1回	1回

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリ プロールを含む 農薬の総使用回数
とうもろこし	50.0% SC	塗沫処理	乾燥種子1000粒 当たり原液1.5～2.5 mL	は種前	—	1回	4回以内（は種前の塗沫処理は1回以内、 は種後は3回以内）
	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
			16倍		1.6 L/10 a		
だいず	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	16～32倍	収穫7日前まで	0.8 L/10 a	2回以内	
あずき	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
豆類（種実、ただし、だいず、あずき、らっかせいを除く）	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さといも	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
かんしょ	5.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	16倍	収穫前日まで	0.8～1.6 L/10 a	3回以内	
やまのいも	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
てんさい	5.0% SC	散布	4000～5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さとうきび	10.0% SC	散布	5000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（粒剤は1回以内、水和剤は3回以内）
		無人航空機による散布	50倍	収穫30日前まで	2.4 L/10 a	3回以内	
	0.50% GR	株元散布	6 kg/10 a	生育期 ただし最終培土まで	—	1回	
			4～6 kg/10 a				
		植溝土壌混和	6 kg/10 a	植付時	—	1回	
			4～6 kg/10 a				
4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
はつかだいこん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	1回	1回
だいこん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
かぶ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
クレソン （土耕栽培）	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
はくさい	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内）
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり50 g	育苗期後半～定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤35	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L	1回	
非結球はくさい	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（灌注は1回以内、散布は2回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内）
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	苗地床1 m ² 当たり2 L	1回	
			100倍		セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤35	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	1000倍	は種時～育苗期 後半	苗地床1 m ² 当たり2 L	1回	
			200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L		
	4.0% WG 配合剤34	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L	1回	
カリフラワー	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（灌注は1回 以内、散布は3回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L） 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
ブロッコリー	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内）
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル 成型育苗トレイ 又はペーパーポッ トの上から均一に 散布する。	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 （約30×60 cm、使用土 壌約1.5～4 L） 当たり50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤35	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
タアサイ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（灌注は1回 以内、散布は2回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
なばな類	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（灌注は1回 以内、散布は3回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	8.7% SC 配合剤35	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプ ロールを含む 農薬の総使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類（タアサ イ、非結球はくさ い、なばな類 を除く）	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス類	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
			1000～2000倍				
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
レタス	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	4回以内（定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
		本剤の所定量をセル 成型育苗トレイ 又はペーパーポッ トの上から均一に 散布する。	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 （約30×60 cm、使用土 壌約1.5～4 L） 当たり50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤35	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	4.0% WG 配合剤34	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
非結球レタス	8.7% SC 配合剤35	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	4回以内（定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
	4.0% WG 配合剤34	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
ふき	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ふき（ふきのとう）	5.0% SC	散布	2000倍	収穫120日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリブ ロールを含む 農薬の総使用回数
ねぎ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回 以内、定植後の 処理は3回以内)
		無人航空機 による散布	20倍	収穫3日前まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
	8.7% SC 配合剤35	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
	4.0% WG 配合剤34	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
アスパラガス	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
らっきょう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	2回以内	
パセリ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	2回以内(灌注は1回 以内、散布は 1回以内)
	8.7% SC 配合剤35	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
せり科葉菜類 (パセリを除く)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで ただ し、みつばの伏せ込 み栽培は伏せ込み前 まで	100～300 L/10 a	1回	1回
トマト	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時ま での処理は1回以内、 散布は 3回以内)
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
ミニトマト	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（灌注は1回 以内、散布は 3回以内）
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
ピーマン	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（灌注は1回 以内、散布は 2回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり25 mL	1回	
なす	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（定植時ま での処理は1回以内、 散布は2回以内）
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
とうがらし類	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（灌注は1回 以内、散布は 3回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり25 mL	1回	
きゅうり	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時ま での処理は1回以内、 散布は3回以内）
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100～200倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
ズッキーニ	5.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
すいか	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
とうがん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にがうり	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ほうれんそう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
オクラ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
しょうが	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
さやえんどう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
さやいんげん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
実えんどう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
えだまめ	5.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	16～32倍	収穫3日前まで	0.8 L/10 a	3回以内	
アマランサス(茎 葉)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
未成熟さざげ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
未成熟そらまめ	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
えごま(葉)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
エンサイ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
つるむらさき	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
モロヘイヤ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
りんご	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
もも	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
ネクタリン	10.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
あんず	10.0% SC	散布	2500倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
すもも	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
うめ	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
	4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
おうとう	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
いちご	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふさすぐり	10.0% SC	散布	2500倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
ぶどう	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
かき	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	4.0% WG 配合剤34	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
ごま	5.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
茶	10.0% SC	散布	2000～4000倍	摘採3日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
			2000倍				

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年5月20日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布（使用）液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
しそ科葉菜類（えごま（葉）を除く）	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

WG：顆粒水和剤

GR：粒剤

SC：フロアブル

配合剤1：48.0%プロベナゾール

配合剤2：0.75%トリフルメゾピリム

配合剤3：0.75%トリフルメゾピリム・10.0%プロベナゾール

配合剤4：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル

配合剤5：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%ジクロベンチアゾクス

配合剤6：0.75%トリフルメゾピリム・4.0%トルプロカルブ

配合剤7：0.75%トリフルメゾピリム・4.5%シメコナゾール・4.0%トルプロカルブ

配合剤8：0.75%トリフルメゾピリム・6.0%チアジニル

配合剤9：0.75%トリフルメゾピリム・6.0%チアジニル・3.0%チフルザミド

配合剤10：12.0%チアジニル

配合剤11：2.0%インピルフルキサム

配合剤12：24.0%プロベナゾール

配合剤13：3.0%チフルザミド・24.0%プロベナゾール

配合剤14：3.0%ピメトロジン・10.0%プロベナゾール

配合剤15：6.0%ジノテフラン・4.0%トルプロカルブ

配合剤16：12.5%アミスルブロム

配合剤17：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤18：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル・4.0%フラメトビル

配合剤19：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%ジクロベンチアゾクス・1.5%フルキサピロキサド

配合剤20：0.75%トリフルメゾピリム・4.0%トリシクラゾール

配合剤21：1.5%クロチアニジン・2.0%イソチアニル

配合剤22：12.0%イソプロチオラン

配合剤23：2.0%イミダクロプリド・2.0%イソチアニル

配合剤24：2.0%イミダクロプリド・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤25：20.0%プロベナゾール

配合剤26：3.0%チフルザミド・4.0%トリシクラゾール

配合剤27：3.0%ピメトロジン

配合剤28：3.0%ピメトロジン・3.0%チフルザミド・10.0%プロベナゾール

配合剤29：3.0%ピメトロジン・6.0%チアジニル

配合剤30：4.0%トリシクラゾール

配合剤31：5.0%ベンフラカルブ

配合剤32：6.0%ジノテフラン

配合剤33：6.0%ベンフラカルブ・10.0%プロベナゾール

配合剤34：15.0%ジノテフラン

配合剤35：17.5%チアメトキサム

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

ー：規定されていない項目

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法 (米国)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
穀類 (とうもろこし及び稲を 除く。) (Group 15)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
とうもろこし	18.4% SC	散布	収穫14日前まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
さとうきび	18.4% SC	散布	収穫14日前まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
あぶらな属野菜 (Subgroup 5A及び5B)	18.4% SC	散布	収穫3日前まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内 (滴下処理は2回以 内、ただし既に植 付時土壌処理を 行っている場合は 1回以内)	0.2 lb ai/acre
		植付時土壌処理				
		滴下処理				
鱗茎野菜類 (Subgroup 3-07A 及び3-07B)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
根菜類	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
仁果類 (Group 11-10)	35.0% WG	散布	収穫5日前まで (mayhawは収穫 14日前まで)	0.055～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
核果類 (Group 12-12)	35.0% WG	散布	収穫10日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
ケインベリー類 (Subgroup 13-07A)	35.0% WG	散布	収穫3日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
ブッシュベリー類 (Subgroup 13-07B)	35.0% WG	散布	収穫前日まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
オイルシード類 (Group 20)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
ナッツ類 (Group 14-12)	35.0% WG	散布	収穫10日前まで	0.044～0.099 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
コーヒー豆	35.0% WG	散布	収穫7日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
カカオ豆	35.0% WG	散布	収穫前日まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
スパイス類 (Subgroup 19B)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.065 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre

SC : フロアブル

WG : 顆粒水和剤

ai : active ingredient (有効成分)

lb : ポンド (1 lb = 0.4535.09237 kg)

acre : エーカー (1 acre = 約4,047 m²)

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（豪州）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数
緑豆	35.0% WG	散布	収穫14日前まで	22.5 g ai/ha	2回以内

WG：顆粒水和剤

ai：active ingredient（有効成分）

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（ニュージーランド）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
アボカド	35.0% WG	散布	収穫14日前まで	3.15 g ai/100 L	2回以内	94.5 g ai/ha

WG：顆粒水和剤

ai：active ingredient（有効成分）

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（ブラジル）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用回数
だいず	60.0% SC	茎葉処理 (地上散布又は空中散布)	収穫21日前まで	15～35 mL/ha (9～21 g ai/ha)	2回以内	3回以内
		乾燥時	播種前	20～35 mL/ha (12～21 g ai/ha)	1回	
		植溝処理	播種時	35 mL/ha (21 g ai/ha)	1回	

SC：フロアブル

ai：active ingredient（有効成分）

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等					
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数							
水稻 (玄米)	2	1.0% GR	50 g/箱 育苗箱処理	1	119	圃場A : <0.01						
					137	圃場B : <0.01						
	6	50.0% SC	7 mL原液/1 kg 乾燥種粒 塗抹処理	1	121	圃場A : <0.01						
					128	圃場B : <0.01						
					134	圃場C : <0.01						
					139	圃場D : <0.01						
					146	圃場E : <0.01						
					147	圃場F : <0.01						
水稻 (粳米)	6	50.0% SC	7 mL原液/1 kg 乾燥種粒 塗抹処理	1	121	圃場A : 0.01						
					128	圃場B : <0.01						
					134	圃場C : 0.01						
					139	圃場D : <0.01						
					146	圃場E : <0.01						
					147	圃場F : <0.01						
未成熟とうもろこし (子実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01	◎					
						圃場B : <0.01						
	3	50.0% SC	2.5 mL原液/種子1000粒 塗抹処理	1	78	圃場A : <0.01						
					80	圃場B : <0.01						
					92	圃場C : <0.01						
とうもろこし (乾燥子実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 191~200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01						
だいず (乾燥子実)	2	5.0% SC	4000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.02 (#) 圃場B : <0.01 (#)						
	4		4000倍 散布 177~189 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : <0.01 (#) 圃場C : <0.01 (#) 圃場D : <0.01 (#)						
						4		4000倍 散布 177~200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01 圃場D : <0.01	
	2		16倍 0.8 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	2	7, 14, 21	圃場A : 0.01 圃場B : 0.01						
	いんげんまめ (乾燥子実)		2	5.0% SC	4000倍 散布 180, 183 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01				
さといも (塊茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 166, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	◎					
かんしょ (塊根)	2	5.0% SC	2000倍 散布 180, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01						
	2		2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01						
2	16倍 1.6 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01								
	やまのいも (塊茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 195, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	◎				
さとうきび (茎)	2	5.0% SC	5000倍 散布 222, 243 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : <0.01 (#)						
	2	0.50% GR +10.0% SC	株元散布 6 kg/10 a +5000倍散布 278, 200 L/10 a	1+3	30, 45, 60	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01						
だいこん (葉部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A : 1.66						
					1, 3, 7, 14	圃場B : 1.00						
だいこん (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A : <0.01						
					1, 3, 7, 14	圃場B : <0.01						
はつかだいこん (茎部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A : 6.62 (1回, 3日) 圃場B : 6.50						
はつかだいこん (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01						
かぶ (葉部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.98 圃場B : 3.28						
かぶ (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.02 (3回, 14日) 圃場B : 0.03	◎					

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
てんさい (根部)	3	5.0% SC	4000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01	
クレソン (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 3.08 圃場B : 1.22	
はくさい (茎葉)	4	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.22 (4回, 3日) 圃場B : 0.30 (4回, 3日)	
					1, 3, 7, 14	圃場C : 0.34 圃場D : 0.09 (4回, 3日)	
	2	0.50% GR +5.0% SC	1 g/株 植穴処理 +2000倍 散布 278~292, 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.24 圃場B : 1.69	
キャベツ (葉球)	4	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200, 250~300, 202 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.08 (4回, 3日) 圃場B : 0.08 (4回, 3日) 圃場C : 0.04 圃場D : 0.53	
					1, 3, 7, 14		
	2	0.50% GR +5.0% SC	1 g/株 植穴処理 +2000倍 散布 231, 281 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.31 (4回, 3日) 圃場B : 0.32	
こまつな (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 3.04 (2回, 3日) 圃場B : 1.22	
みずな (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 5.76 圃場B : 1.02	
チンゲンサイ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 180, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.46 圃場B : 1.56	
カリフラワー (花蕾)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300, 210 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.24 (3回, 3日) 圃場B : <0.01	
	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 267, 250, 271 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.18	
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200, 70~150 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.19 (4回, 3日) 圃場B : 0.10 (4回, 3日) (#)	
	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +1000倍 散布 250, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.60 (4回, 1日) (#) 圃場B : 0.34 (4回, 1日) (#)	
	2	0.50% GR +5.0% SC	1 g/株 植穴処理 +2000倍 散布 273, 160~250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.25 圃場B : 0.26	
茎ブロッコリー (花蕾及び花茎)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200, 240~260 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 0.35 圃場B : 0.66	
はなっこりー (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 圃場B : 0.52	
タアサイ (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.73 圃場B : 2.70	
あすっこ (花・花茎)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注	1	82, 89, 96	圃場A : <0.02 (1回, 82日) 圃場B : <0.02 (1回, 82日)	
なばな (茎葉)	2	8.7% SC +5.0% SC	200倍500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 200, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 1.00 圃場B : 0.50	
ひろしまな (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +2000倍 散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.72 圃場B : 0.53	
レタス (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セクトイ灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 2.51 (4回, 7日) 圃場B : 0.46 (4回, 3日)	
	2		100倍 500 mL/セクトイ灌注 +1000倍 散布 223, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.24 圃場B : 0.69	
	2		100倍 500 mL/セクトイ灌注 +1000倍 散布 199~203, 197~201 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.24 圃場B : 1.34	
	2	0.50% GR +5.0% SC	1 g/株 植穴処理 +1000倍 散布 250~258, 278~279 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.91 (4回, 3日) 圃場B : 1.22	
リーフレタス (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 1.83 圃場B : 6.70	
	2		100倍 500 mL/セクトイ灌注 +1000倍 散布 150, 193.3 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 6.98 圃場B : 8.46	◎

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
サラダ菜 (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 2.40 (2回, 3日) 圃場B : 2.31	◎
	2		100倍 500m L/セトリイ灌注 +1000倍 散布 193.3, 200 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 5.82 圃場B : 8.63	
ふき (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.19 圃場B : 0.29	
ふきのとう (花穂)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	2	120, 135, 150	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
ねぎ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.19 圃場B : 0.61	
	2		100倍 500 mL/セトリイ灌注 +2000倍散布 192, 180 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09 圃場B : 0.26	
アスパラガス (若茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.02 圃場B : 0.02	◎
らっきょう (鱗茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
パセリ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 397 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 5.62 圃場B : 6.10 (＃)	◎
	2	8.7% SC +5.0% SC	200倍 500 mL/セトリイ灌注 +2000倍散布 200 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A : 7.72 (2回, 14日) 圃場B : 5.10	
コリアンダー (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 176, 183 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A : 1.98 圃場B : 1.18	
トマト (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.04 (4回, 7日) 圃場B : 0.16	
ミニトマト (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +2000倍 散布 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.10 (4回, 3日) 圃場B : 0.06	
ピーマン (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 200, 250 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.21 圃場B : 0.35	◎
なす (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.05 圃場B : 0.22	◎
ししとう (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 281, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.12 圃場B : 2.50	
甘長とうがらし (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 180, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.04 圃場B : 1.26	
きゅうり (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.06	
すいか (果肉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
すいか (果皮)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.29 圃場B : 0.12	
すいか (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.06 ^{注2)} 圃場B : 0.04 ^{注2)}	
メロン (果肉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
メロン (果皮)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 (3回, 3日) 圃場B : 0.48 (3回, 3日)	
メロン (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.10 ^{注3)} (3回, 3日) 圃場B : 0.10 ^{注3)}	
とうがん (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
にがうり (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.12 (3回, 3日) 圃場B : 0.47	
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 152.4, 182.65~182.86 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 3.99 (3回, 14日) 圃場B : 3.99	
オクラ (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 280, 225~275 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.15 圃場B : 0.27	◎
しょうが (根茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 166, 178~180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.01 (3回, 7日) 圃場B : <0.01	◎
さやえんどう (さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 181 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.26 圃場B : 0.13	
さやいんげん (さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 168~194, 183 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.18 圃場B : 0.14 (3回, 7日)	
えだまめ (さや)	2	5.0% SC	4000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.12 圃場B : 0.26	◎

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
えごま (葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 6.80 圃場B : 13.6	
エンサイ (葉茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 6.50 (2回, 3日) 圃場B : 3.64	
つるむらさき (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 1.38 圃場B : 2.20	
モロヘイヤ (茎葉)	3	5.0% SC	2000倍 散布 480, 420, 750 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7	圃場A : 14.4 (2回, 1日) (＃) 圃場B : 8.32 (2回, 1日) (＃) 圃場C : 7.26 (2回, 1日) (＃)	
未成熟ささげ (未成熟さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.66 圃場B : 0.42	
未成熟そらまめ (さや)	2	5.0% SC	1000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : <0.01	
アマランサス (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.83 圃場B : 3.25	
りんご (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 600, 500, 500, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.26 (3回, 3日) 圃場B : 0.10 (3回, 3日) 圃場C : 0.34 圃場D : 0.18	◎
なし (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 400, 700, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.14 (3回, 3日) 圃場B : 0.15 (3回, 3日) 圃場C : 0.30 圃場D : 0.16	
もも (果肉)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.02 (2回, 3日) 圃場B : <0.01 (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
もも (果皮)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.38 (2回, 3日) 圃場B : 0.59 (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.14 圃場B : 1.22	
もも (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.22 ^{注4)} (2回, 3日) 圃場B : 0.10 ^{注4)} (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.18 ^{注4)} 圃場B : 0.19 ^{注4)}	
ネクタリン (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08	
あんず (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 625, 400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.62 圃場B : 0.32 (3回, 14日)	
すもも (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.04 (3回, 14日) 圃場B : 0.08	
うめ (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 313, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.44 圃場B : 0.32	
おうとう (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 700, 500, 417, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.38 (3回, 3日) 圃場B : 0.23 (3回, 3日)	
					1, 3, 7, 14	圃場C : 0.12 圃場D : 0.18	
いちご (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.22	
ふさすぐり (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 250, 111 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.88 圃場B : 1.10 (＃)	◎
ぶどう (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 300, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.13 (3回, 3日) 圃場B : 0.43 (3回, 3日)	◎
かき (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.06 圃場B : 0.06 (3回, 3日)	◎
ごま (種子)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.03	
茶 (荒茶)	2	10.0% SC	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 27.5 圃場B : 33.8	
茶 (浸出液)	2	10.0% SC	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6	
バジル (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 8.08 圃場B : 5.86	

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg） ^{注1)}	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
しそ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 7.76 圃場B : 17.3	◎

GR : 粒剤

SC : フロアブル

(H)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉77%及び果皮23%として果実全体の残留濃度を算出した。

注3) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉88%及び果皮12%として果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件 ^{注1)}				残留濃度 (mg/kg) ^{注2)}	設定の根拠等																					
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数																							
小麦	5	18.4% SC	0.201～0.209 lb ai/acre散布	2	1	圃場A：0.225 圃場B：0.192 圃場C：0.183 圃場D：0.254 圃場E：0.409																						
大麦	3	18.4% SC	0.200～0.207 lb ai/acre散布	2	1	圃場A：1.96 圃場B：1.91 圃場C：1.93	◎																					
ソルガム	3	18.4% SC	0.200～0.202 lb ai/acre散布	2	1	圃場A：1.16 圃場B：1.49 圃場C：0.786																						
とうもろこし (茎葉)	14	18.4% SC	0.098～0.104 lb ai/acre*散布	2	13	圃場A：5.4 圃場B：5.315	◎																					
					14	圃場C：2.615 圃場D：0.69 圃場E：12.04 圃場F：3.635 圃場G：3.955 圃場H：0.824 圃場I：2.085 圃場J：2.075 圃場K：7.69 圃場L：4.52 圃場M：7.1																						
						15		圃場N：2.36																				
						13		圃場A：1.7 圃場B：3.1 圃場C：3.1 圃場D：2.8 圃場E：3.7																				
								15	圃場F：2.2 圃場G：3.8																			
									キャベツ (外葉あり)	11	18.4% SC	110～118 g ai/ha*散布	2	3	圃場A：0.64 圃場B：0.28 圃場C：0.033 圃場D：0.51 圃場E：0.48 圃場F：0.066 圃場G：0.29 圃場H：1.1 圃場I：0.75 圃場J：2.9 圃場K：2.2	◎												
								1							18.4% SC		112～116 g ai/ha*散布	2	4	圃場A：0.10								
								キャベツ (外葉なし)							3		18.4% SC	110～118 g ai/ha*散布	2	3	圃場A：0.037 圃場B：0.078 圃場C：0.077							
						ブロッコリー (花蕾)															8		18.4% SC	109～116 g ai/ha*散布	2	3	圃場A：0.67 (2回,1日) 圃場A：0.32 圃場B：0.30 圃場C：0.40 圃場D：0.38 圃場E：0.32 圃場F：0.41 圃場G：0.35 圃場H：0.12	
																											ねぎ	

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件 ^(注1)				残留濃度 (mg/kg) ^(注2)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご (果実)	1	35.0% WG	112 g ai/ha*散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.13	◎
	13	35.0% WG	111~118 g ai/ha*散布	2	14	圃場A : 0.022	
						圃場B : 0.056	
						圃場C : 0.11	
						圃場D : 0.074	
						圃場E : 0.038	
						圃場F : 0.010	
						圃場G : 0.012	
						圃場H : 0.088	
						圃場I : 0.045	
						圃場J : 0.093	
						圃場K : 0.061	
						圃場L : 0.23	
	3	35.0% WG	109~113 g ai/ha*散布	2	15	圃場M : 0.078	
						圃場A : 0.073	
なし (果実)	1	35.0% WG	113~115 g ai/ha*散布	2	10	圃場A : 0.054	
	3	35.0% WG	112 g ai/ha*散布	2	13	圃場A : 0.033	
						圃場B : 0.059	
	7	35.0% WG	112~113 g ai/ha*散布	2	14	圃場C : 0.085	
						圃場A : 0.026	
						圃場B : 0.070	
						圃場C : 0.10	
						圃場D : 0.016	
						圃場E : 0.12	
						圃場F : 0.13	
						圃場G : 0.070	
もも (果実)	1	35.0% WG	115.71~116.13 g ai/ha*散布	2	1, 3, 8, 10, 14	圃場A : 0.158	
	1	35.0% WG	111.69~112.42 g ai/ha*散布	2	1, 3, 8, 11, 15	圃場A : 0.318	
	2	35.0% WG	110.69~112.34 g ai/ha*散布	2	9	圃場A : 0.0720	
						圃場B : 0.125	
						圃場A : 0.247	
						圃場B : 0.144	
						圃場C : 0.132	
						圃場D : 0.165	
						圃場E : 0.0639	
						圃場F : 0.0916	
	9	35.0% WG	111.37~113.65 g ai/ha*散布	2	10	圃場G : 0.101	
						圃場H : 0.0827	
						圃場I : 0.122	
						圃場A : 0.106	
						圃場B : 0.891	
						圃場C : 0.142	
						圃場A : 0.114	
						圃場B : 0.132	
	3	35.0% WG	110.35~115.85 g ai/ha*散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場C : 0.101	
						圃場A : 0.0897	
						圃場B : 0.105	
						圃場C : 0.309	
	4	35.0% WG	109.77~115.87 g ai/ha*散布	2	11	圃場D : 0.183	
						圃場A : 0.004	
すもも (果実)	1	35.0% WG	111~112 g ai/ha*散布	2	0, 5, 10, 14, 21	圃場A : 0.004	
	10	35.0% WG	105~112 g ai/ha*散布	2	10	圃場B : 0.026	
						圃場C : 0.017	
						圃場D : 0.067	
						圃場E : 0.066	
						圃場F : 0.006	
						圃場G : 0.015	
						圃場H : 0.006	
						圃場I : 0.007	
						圃場J : 0.007	
						圃場K : 0.009	
	3	35.0% WG	108~111 g ai/ha*散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.011	
						圃場B : 0.022	
						圃場C : 0.049	
	3	35.0% WG	112~118 g ai/ha*散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.011	
						圃場B : 0.029	
						圃場C : 0.076	

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件 ^(注1)				残留濃度 (mg/kg) ^(注2)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
おうとう (果実)	2	35.0% WG	112 g ai/ha*散布	2	9	圃場A : 0.11 圃場B : 0.18	◎
	6	35.0% WG	111~112 g ai/ha*散布	2	10	圃場A : 0.26 圃場B : 0.10 圃場C : 0.056 圃場D : 0.36 圃場E : 0.21 圃場F : 0.45	
						圃場A : 0.15 圃場B : 0.48	
						圃場A : 0.19 圃場B : 0.57	
						圃場A : 0.171	
						圃場A : 0.0902	
	1	35.0% WG	0.199 lb ai/acre散布	2	1, 3, 6, 10, 15	圃場A : 0.235	
ラズベリー (果実)	1	35.0% WG	0.099~0.103 lb ai/acre*散布	2	1, 3, 7, 10	圃場A : 0.235 圃場B : 0.481 圃場C : 0.482 圃場D : 0.513 圃場E : 0.095	◎
	5	35.0% WG	0100~0.105 lb ai/acre*散布	2	3	圃場A : 0.049 圃場B : 0.436	
ブラックベリー (果実)	2	35.0% WG	0.097~0.100 lb ai/acre*散布	2	3	圃場A : 0.176 圃場B : 0.122 圃場C : 0.163 圃場D : 0.108 圃場E : 0.206 圃場F : 0.132 圃場G : 0.749 圃場H : 0.840 圃場I : 0.181 圃場A : 0.234	◎
ブルーベリー (果実)	9	35.0% WG	0.198~0.212 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 0.460	
	1				1, 3, 6, 13	圃場A : 0.234	
	1				1, 3, 8, 14	圃場A : 0.460	
ひまわり (種子)	6	18.4% SC	219~230 g ai/ha散布	1	1	圃場A : 0.79 圃場B : 0.12 圃場C : 0.21 圃場D : 0.030 圃場E : 0.82 圃場F : 0.16	◎
	1	35.0% WG	110~118 g ai/ha*散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.078	
綿実 (種子)	1	35.0% WG	110~112 g ai/ha*散布	2	0, 6, 14, 20, 25	圃場A : 0.34(2回, 6日)	◎
	1	35.0% WG	112 g ai/ha*散布	2	20	圃場A : 0.016 圃場A : 0.022 圃場B : 0.029 圃場C : 0.047 圃場D : 0.082 圃場E : 0.049 圃場F : 0.13 圃場G : 0.083	
	7	35.0% WG	109~114 g ai/ha*散布	2	21	圃場A : 0.031 圃場B : 0.054 圃場C : 0.081	
	3	35.0% WG	110~114 g ai/ha*散布	2	22	圃場A : 0.006 圃場A : 0.015 圃場A : 0.003 圃場B : 0.003 圃場C : 0.007 圃場D : 0.014 圃場E : 0.009	
	1	35.0% WG	112~113 g ai/ha*散布	2	9	圃場A : 0.006 圃場B : 0.007 圃場C : 0.004 圃場D : 0.006 圃場E : 0.004	
	5	35.0% WG	112~114 g ai/ha*散布	2	10	圃場A : 0.008 圃場A : 0.098 圃場B : 0.115	
	1	35.0% WG	112~113 g ai/ha*散布	2	23	圃場A : 0.188 圃場B : 0.205	
	1	35.0% WG	112~113 g ai/ha*散布	2	9	圃場A : 0.015 圃場A : 0.003 圃場B : 0.003 圃場C : 0.007 圃場D : 0.014 圃場E : 0.009	
	5	35.0% WG	112~114 g ai/ha*散布	2	10	圃場A : 0.006 圃場B : 0.007 圃場C : 0.004 圃場D : 0.006 圃場E : 0.004	
	1	35.0% WG	111~112 g ai/ha*散布	2	11	圃場A : 0.008	
アーモンド (可食部)	2	35.0% WG	52.5 g ai/ha*散布	3	1, 21	圃場A : 0.098 圃場B : 0.115	◎
	2				1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.188 圃場B : 0.205	
デイル (種子)	2	18.4% SC	0.100~0.101 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 17.6 圃場B : 24.3	◎

WG : 顆粒水和剤

SC : フロアブル

(H)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 使用量は、*で示した値は1回当たりの使用量、それ以外は総使用量。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
緑豆	2	35.0% WG	45 g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.42	◎
						圃場B : 0.32	

WG：顆粒水和剤

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（ニュージーランド）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アボカド	1	35.0% WG	94.5 g ai/ha散布	<u>2</u>	<i>1, 7, <u>14</u>, 21, 28</i>	圃場A : 0.16 (2回, 7日)	◎
	1				<u>14</u>	圃場A : 0.15	
	1	35.0% WG	189 g ai/ha散布	3	<i>1, 7, <u>14</u>, 21, 28</i>	圃場A : 0.34 (3回, 1日) (#)	
	1				<u>14</u>	圃場A : 0.31 (#)	

WG：顆粒水和剤

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表（ブラジル）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
だいず	4	60.0% SC	108 g ai/ha散布	4	14, <u>21</u> , 28, 35	圃場A : 0.0142 (4回, 35日) (#)	◎
						圃場B : <0.01 (#)	
						圃場C : 0.0641 (#)	
						圃場D : <0.01 (#)	

SC : フロアブル

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.1	0.05	○			※1
小麦	6	6		0.02	6.0 米国	【1.91,1.93,1.96(米国大麦)】
大麦	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
ライ麦	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
とうもろこし	0.05	0.6	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
そば	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
その他の穀類	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
大豆	0.2	0.2	○	0.05	0.2 ブラジル	【<0.01~0.0641(＃)(n=4) (ブラジル)】
小豆類	0.7	1	○	0.3	0.7 豪州	【0.32,0.42(豪州緑豆)】
えんどう	0.3	1	○	0.3		
そら豆	0.3	1	○	0.3		
らっかせい	0.06	0.06		0.06		
その他の豆類	0.3	1	○	0.3		
ばれいしょ	0.02	0.02		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
かんしょ	0.02	0.05	○	0.02		
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
こんにゃくいも	0.02	0.02		0.02		
その他のいも類	0.02	0.02		0.02		
てんさい	0.02	0.02	○	0.02		
さとうきび	14	14	○	0.5	14 米国	【0.69~12.04(n=21) (米国とうもろこし茎葉)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	0.5	○	0.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	40	40	○	40		
かぶ類の根	0.2	0.2	○	0.02		0.02,0.03(¥)
かぶ類の葉	20	20	○	20		
西洋わさび	0.02	0.02		0.02		
クレソン	20	20	○	20		
はくさい	20	20	○	20		
キャベツ	4	4	○	2	4.0 米国	【0.033~2.9(n=12) (米国キャベツ外葉あり)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ケール	20	20	○	20		
こまつな	20	20	○	20		
きょうな	20	20	○	20		
チンゲンサイ	20	20	○	20		
カリフラワー	4	4	○	2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ブロッコリー	4	4	○	2	4.0 米国	【キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	20	20	○	20		
ごぼう	0.02	0.02		0.02		
サルシフィー	0.02	0.02		0.02		
アーティチョーク	2	2		2		
チコリ	30	20	申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
エンダイブ	30	20	申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
しゅんぎく	20	20		20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	30	20	○・申	20		5.82,8.63(サラダ菜)、6.98(リーフレタス)
その他のきく科野菜	30	20	○・申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○		3.0 米国	【0.406~1.49(n=5)(米国)】
にら	3	3			3.0 米国	【ねぎ(リーキを含む。))参照】
アスパラガス	0.1	0.1	○			0.02,0.02(¥)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
その他のゆり科野菜	3	3	○		3.0 米国	【ねぎ(リーキを含む。)参照】
にんじん	0.08	0.08	○	0.08		
パースニップ	0.02	0.02		0.02		
パセリ	15	15	○			5.10,7.72(¥)
セロリ	15	15	○	7		(パセリ参照)
みつば	15	15	○			(パセリ参照)
その他のせり科野菜	15	15	○	0.02		(パセリ参照)
トマト	0.6	0.7	○	0.6		
ピーマン	1	1	○	0.6		0.21,0.35(¥)
なす	0.7	0.7	○	0.6		0.05,0.22(¥)
その他のなす科野菜	20	20	○	20		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
しろり	0.3	0.3		0.3		
すいか		0.1	○			
すいか(果皮を含む。)	0.3		○	0.3		
メロン類果実		0.1	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.3		○	0.3		
まくわうり		0.1				
まくわうり(果皮を含む。)	0.3			0.3		
その他のうり科野菜	20	20	○	20		
ほうれんそう	20	20	○	20		
オクラ	0.7	0.7	○	0.6		0.15,0.27(¥)
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,0.01(¥)
未成熟えんどう	2	2	○	2		
未成熟いんげん	0.8	2	○	0.8		
えだまめ	0.7	1	○			0.12,0.26(¥)
マッシュルーム	0.6	0.6		0.6		
しいたけ	0.6	0.6		0.6		
その他のきのこ類	0.6	0.6		0.6		
その他の野菜	20	20	○	20		
みかん		0.2				
みかん(外果皮を含む。)	0.7			0.7		
なつみかんの果実全体	0.7	0.7		0.7		
レモン	0.7	0.7		0.7		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.7		0.7		
グレープフルーツ	0.7	0.7		0.7		
ライム	0.7	0.7		0.7		
その他のかんきつ類果実	0.7	0.7		0.7		
りんご	1	1	○	0.4		0.34,0.18(¥)
日本なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【0.010～0.23(n=17)(米国りんご)】
西洋なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【日本なし参照】
マルメロ	1	1		0.4	1.2 米国	【日本なし参照】
びわ		0.4				
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.4			0.4		
もも		0.4	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	3		○	1	2.5 米国	【0.056～0.45(n=8)(米国おうとう)】
ネクタリン	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
あんず(アブリコットを含む。)	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
すもも(プルーンを含む。)	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
うめ	1	1	○	1		
おうとう(チェリーを含む。)	3	1	○	1	2.5	米国
いちご	1	1	○	1		
ラズベリー	2	2		1	1.8	米国
ブラックベリー	2	2		1	1.8	米国
ブルーベリー	3	3		1	2.5	米国
クランベリー	3	3		1	2.5	米国
ハックルベリー	3	3		1	2.5	米国
その他のベリー類果実	3	3	○	1		
ぶどう	1	2	○	1		
かき	0.3	0.3	○			
アボカド	0.5	0.5		0.3	0.5	ニュージーランド
その他の果実	1	1		1		
ひまわりの種子	2	2		2		
ごまの種子	0.3	0.3	○		0.3	米国
べにばなの種子	2	2			2.0	米国
綿実	0.3	0.3		0.3		
なたね	2	2		2		
その他のオイルシード	0.3	0.3			0.3	米国
ぎんなん	0.02	0.02		0.02		
くり	0.02	0.02		0.02		
ペカン	0.02	0.02		0.02		
アーモンド	0.02	0.02		0.02		
くるみ	0.02	0.02		0.02		
その他のナッツ類	0.02	0.02		0.02		
茶	80	50	○	80		
コーヒード	0.4	0.4		0.05	0.4	米国
カカオ豆	0.08	0.08			0.08	米国 ※3
ホップ	40	40		40		
その他のスパイス	90	90			90	米国
その他のハーブ	25	25	○	20		
牛の筋肉	0.2	0.2		0.2		
豚の筋肉	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.2		
牛の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
豚の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
牛の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
豚の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2		
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2		
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2		
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2		
乳	0.05	0.05		0.05		
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02		
鶏の脂肪	0.08	0.08		0.08		
その他の家きんの脂肪	0.08	0.08		0.08		
鶏の肝臓	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの肝臓	0.07	0.07		0.07		
鶏の腎臓	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの腎臓	0.07	0.07		0.07		
鶏の食用部分	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの食用部分	0.07	0.07		0.07		
鶏の卵	0.2	0.2		0.2		
その他の家きんの卵	0.2	0.2		0.2		
魚介類	0.05	0.05				推:0.05
はちみつ	0.05	0.05				※5
とうがらし(乾燥させたもの)				5		※6

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1)「米」の基準値について;

国際基準における「Rice」については、「粳米」に対する基準値であり、我が国における「玄米」に相当する食品への基準は設定されていない。ただし、2014年のJMPRIによる評価において、精米への加工係数が0.11、米ぬかへの加工係数が1.7と設定されている。また、米の基準値設定のための試験データから、精米と米ぬかの重量比が88%:12%と算出されたことから、「米(玄米)」の基準値として0.1 ppmを設定することとした。

※2) 現行の基準値はIT(インポートトランス)申請当時の米国分類に基づいた基準値を参照して設定したものであり、現在も米国において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。なお、米国におけるごまの種子及びその他のオイルシードが属するオイルシード類subgroup 20Aの基準値は2.0 ppmに変更されている。

※3) 現行の基準値は、IT申請当時の米国の基準値を参照して設定したものであり、現在も米国において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。なお、米国における牛の脂肪及び肝臓の基準値は0.5 ppmに変更されている。

※4) カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

※5)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※6) 加工食品である「とうがらし(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRIの評価書はとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数を7と算出している。

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.1	0.03	4.9	2.6	3.2	5.4
小麦	6	1.93	115.4	85.5	133.2	96.3
大麦	6	1.93	10.2	8.5	17.0	8.5
ライ麦	6	1.93	0.2	0.2	1.0	0.2
とうもろこし	0.05	0.01	0.0	0.1	0.1	0.0
そば	6	1.93	2.1	1.0	3.5	2.1
その他の穀類	6	1.93	0.4	0.2	0.2	0.6
大豆	0.2	0.012	0.5	0.2	0.4	0.6
小豆類	0.7	0.37	0.9	0.3	0.3	1.4
えんどう	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.02	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.02	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
さとうきび	14	3.1	304.4	259.2	384.7	310.6
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.5	0.055	1.8	0.6	1.1	2.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	40	10.5	17.9	6.3	32.6	29.4
かぶ類の根	0.2	0.025	0.1	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	20	7.3	2.2	0.7	0.7	4.4
西洋わさび	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	7.3	0.7	0.7	0.7	0.7
はくさい	20	7.3	129.2	37.2	121.2	157.7
キャベツ	4	0.495	11.9	5.7	9.4	11.8
芽キャベツ	4	0.495	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	20	7.3	1.5	0.7	0.7	1.5
こまつな	20	7.3	36.5	13.1	46.7	46.7
きょうな	20	7.3	16.1	2.9	10.2	19.7
チンゲンサイ	20	7.3	13.1	5.1	13.1	13.9
カリフラワー	4	0.495	0.2	0.1	0.0	0.2
ブロッコリー	4	0.495	2.6	1.6	2.7	2.8
その他のあぶらな科野菜	20	7.3	24.8	4.4	5.8	35.0
ごぼう	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.1
チコリ	30	6.98	0.7	0.7	0.7	0.7
エンダイブ	30	6.98	0.7	0.7	0.7	0.7
しゅんぎく	20	7.3	11.0	2.2	19.0	18.3
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	6.98	67.0	30.7	79.6	64.2
その他のきく科野菜	30	6.98	10.5	0.7	4.2	18.1
ねぎ (リーキを含む。)	3	0.717	6.7	2.7	4.9	7.7
にら	3	0.717	1.4	0.6	1.3	1.5
アスパラガス	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のゆり科野菜	3	0.717	0.4	0.1	0.1	0.9
にんじん	0.08	0.02	0.4	0.3	0.5	0.4
パースニップ	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	6.41	0.6	0.6	0.6	1.3
セロリ	15	6.41	7.7	3.8	1.9	7.7
みつば	15	6.41	2.6	0.6	0.6	3.2
その他のせり科野菜	15	6.41	1.3	0.6	1.9	1.9
トマト	0.6	0.066	2.1	1.3	2.1	2.4
ピーマン	1	0.28	1.3	0.6	2.1	1.4
なす	0.7	0.135	1.6	0.3	1.4	2.3
その他のなす科野菜	20	7.3	8.0	0.7	8.8	8.8

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	0.065	1.3	0.6	0.9	1.7
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	0.065	0.6	0.2	0.5	0.8
しろうり	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.1
すいか (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.5	0.4	0.9	0.7
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.2	0.2	0.3	0.3
まくわうり (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	20	7.3	19.7	8.8	4.4	24.8
ほうれんそう	20	7.3	93.4	43.1	103.7	127.0
オクラ	0.7	0.21	0.3	0.2	0.3	0.4
しょうが	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	2	0.545	0.9	0.3	0.1	1.3
未成熟いんげん	0.8	0.16	0.4	0.2	0.0	0.5
えだまめ	0.7	0.19	0.3	0.2	0.1	0.5
マッシュルーム	0.6	0.066	0.0	0.0	0.1	0.0
しいたけ	0.6	0.066	0.4	0.2	0.2	0.5
その他のきのこ類	0.6	0.066	0.7	0.3	0.7	0.8
その他の野菜	20	7.3	97.8	46.0	73.7	102.9
みかん (外果皮を含む。)	0.7	0.06	1.1	1.0	0.0	1.6
なつみかんの果実全体	0.7	0.06	0.1	0.0	0.3	0.1
レモン	0.7	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.06	0.4	0.9	0.8	0.3
グレープフルーツ	0.7	0.06	0.3	0.1	0.5	0.2
ライム	0.7	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	0.7	0.06	0.4	0.2	0.2	0.6
りんご	1	0.26	6.3	8.0	4.9	8.4
日本なし	1	0.072	0.5	0.2	0.7	0.6
西洋なし	1	0.072	0.0	0.0	0.0	0.0
マルメロ	1	0.072	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.4	0.07	0.0	0.0	0.1	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	3	0.195	0.7	0.7	1.0	0.9
ネクタリン	3	0.195	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	3	0.195	0.0	0.0	0.0	0.1
すもも (ブルーンを含む。)	3	0.195	0.2	0.1	0.1	0.2
うめ	1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.195	0.1	0.1	0.0	0.1
いちご	1	0.119	0.6	0.9	0.6	0.7
ラズベリー	2	0.358	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	2	0.358	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	3	0.181	0.2	0.1	0.1	0.3
クランベリー	3	0.181	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	3	0.181	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	3	0.99	0.1	0.1	0.2	0.1
ぶどう	1	0.28	2.4	2.3	5.7	2.5
かき	0.3	0.06	0.6	0.1	0.2	1.1
アボカド	0.5	0.155	0.0	0.0	0.0	0.1
その他の果実	1	0.119	0.1	0.0	0.1	0.2
ひまわりの種子	2	0.185	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.3	0.052	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	2	0.185	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.3	0.049	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	2	0.295	1.7	1.1	1.6	1.4
その他のオイルシード	0.3	0.052	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
茶	80	24.5	161.7	24.5	90.7	230.3
コーヒー豆	0.4	0.152	0.5	0.0	0.0	0.4
カカオ豆	0.08	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	40	10.9	1.1	1.1	1.1	1.1
その他のスパイス	90	20.95	2.1	2.1	2.1	4.2
その他のハーブ	25	12.53	11.3	3.8	1.3	17.5
陸棲哺乳類の肉類	0.3	筋肉 0.009 脂肪 0.2	2.7	2.0	3.0	1.9
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.3	0.18	0.3	0.1	0.9	0.2
陸棲哺乳類の乳類	0.05	0.006	1.6	2.0	2.2	1.3
家さんの肉類	0.08	0.028	0.6	0.4	0.6	0.5
家さんの卵類	0.2	0.099	4.1	3.3	4.8	3.8
魚介類	0.05	0.016	1.5	0.6	0.9	1.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			1243.5	642.4	1231.1	1440.0
ADI比 (%)			1.5	2.6	1.4	1.7

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乗じた値を用いてEDI試算した。

米 (玄米をいう。) の暴露評価には、国際基準における「Rice (粳米)」のSTMRから基準値と同様の手法で算出した数値を用いた。

牛の脂肪及び肝臓のSTMRは、米国での肉牛における最大飼料由来負荷72.6 ppmを用いて算出した。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(新規：水稻、りんご等)
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	7月23日	インポートトレランス申請(ばれいしょ、ほうれんそう等)
平成20年	10月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	3月6日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成21年	7月22日	初回農薬登録
平成21年	9月28日	残留基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：だいこん、かぶ等)
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請(米、かんきつ類、魚介類等)
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	9月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成24年	12月28日	残留基準告示
平成24年	4月16日	インポートトレランス申請(みかん、ラズベリー等)
平成24年	5月9日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：さといも、やまのいも等)
平成24年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	10月24日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：かんしょ)
平成24年	10月31日	インポートトレランス申請(ひまわり(種子)、なたね等)
平成24年	11月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	3月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年	10月22日	残留基準告示
平成26年	1月24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：オクラ及びしょうが)
平成26年	3月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	3月27日	インポートトレランス申請(小麦、たまねぎ等)
平成26年	6月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成26年12月24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年5月19日	残留基準告示
平成28年7月1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：せり科葉菜類(パセリを除く)及びパセリ)
平成28年11月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年4月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年9月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年5月30日	残留基準告示
令和3年5月25日	薬事・食品衛生審議会への諮問(基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定)
令和3年6月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年6月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年7月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和3年12月17日	残留基準告示
令和6年9月2日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：レタス類)
令和7年11月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和7年11月28日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会
令和8年2月18日	内閣総理大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和8年2月25日	食品安全委員会委員長から内閣総理大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和8年7月1日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和8年7月14日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

クロラントラニリプロールについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

クロラントラニリプロール

今回残留基準を設定する「クロラントラニリプロール」の規制対象は、クロラントラニリプロールとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.1
小麦	6
大麦	6
ライ麦	6
とうもろこし	0.05
そば	6
その他の穀類 ^{注1)}	6
大豆	0.2
小豆類 ^{注2)}	0.7
えんどう	0.3
そら豆	0.3
らっかせい	0.06
その他の豆類 ^{注3)}	0.3
ばれいしょ	0.02
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05
かんしょ	0.02
やまいも（長いものをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.02
その他のいも類 ^{注4)}	0.02
てんさい	0.02
さとうきび	14
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	40
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.02
クレソン	20
はくさい	20

食品名	残留基準値 ppm
キャベツ	4
芽キャベツ	4
ケール	20
こまつな	20
きょうな	20
チンゲンサイ	20
カリフラワー	4
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	20
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.02
アーティチョーク	2
チコリ	30
エンダイブ	30
しゅんぎく	20
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 ^{注6)}	30
ねぎ（リーキを含む。）	3
にら	3
アスパラガス	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	3
にんじん	0.08
パースニップ	0.02
パセリ	15
セロリ	15
みつば	15
その他のせり科野菜 ^{注8)}	15
トマト	0.6
ピーマン	1
なす	0.7
その他のなす科野菜 ^{注9)}	20
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.3
しろうり	0.3
すいか（果皮を含む。）	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.3
まくわうり（果皮を含む。）	0.3

食品名	残留基準値 ppm
その他のうり科野菜 ^{注10)}	20
ほうれんそう	20
オクラ	0.7
しょうが	0.05
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	0.8
えだまめ	0.7
マッシュルーム	0.6
しいたけ	0.6
その他のきのこ類 ^{注11)}	0.6
その他の野菜 ^{注12)}	20
みかん（外果皮を含む。）	0.7
なつみかんの果実全体	0.7
レモン	0.7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	0.7
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実 ^{注13)}	0.7
りんご	1
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	1
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.4
もも（果皮及び種子を含む。）	3
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	1
おうとう（チェリーを含む。）	3
いちご	1
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	3
クランベリー	3
ハックルベリー	3
その他のベリー類果実 ^{注14)}	3

食品名	残留基準値 ppm
ぶどう	1
かき	0.3
アボカド	0.5
その他の果実 ^{注15)}	1
ひまわりの種子	2
ごまの種子	0.3
べにばなの種子	2
綿実	0.3
なたね	2
その他のオイルシード ^{注16)}	0.3
ぎんなん	0.02
くり	0.02
ペカン	0.02
アーモンド	0.02
くるみ	0.02
その他のナッツ類 ^{注17)}	0.02
茶	80
コーヒー豆	0.4
カカオ豆	0.08
ホップ	40
その他のスパイス ^{注18)}	90
その他のハーブ ^{注19)}	25
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注20)} の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.3
豚の脂肪	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3
牛の肝臓	0.3
豚の肝臓	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分 ^{注21)}	0.2
豚の食用部分	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2

食品名	残留基準値 ppm
乳	0.05
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注22)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.08
その他の家きんの脂肪	0.08
鶏の肝臓	0.07
その他の家きんの肝臓	0.07
鶏の腎臓	0.07
その他の家きんの腎臓	0.07
鶏の食用部分	0.07
その他の家きんの食用部分	0.07
鶏の卵	0.2
その他の家きんの卵	0.2
魚介類	0.05
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。

注12) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注13) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注14) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注15) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーベリーを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注16) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注17) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注18) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注19) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注20) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注21) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注22) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

クロラントラニリプロール

添付資料

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点を取りまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

- （1）品目名：クロラントラニリプロール[Chlorantraniliprole (ISO)]
- （2）分類（用途）：農薬（殺虫剤）
- （3）化学名、CAS番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料1参照）

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は別紙1-1、海外における適用の範囲及び使用方法は別紙1-2～1-4のとおり。なお、今般の基準値設定依頼にかかる新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

3. 代謝試験

（1）植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、りんご、レタス、トマト及び綿で実施されており、可食部での主要残留物は親化合物で、10%TRR^注以上認められた代謝物はなかった。

注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

（2）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、産卵鶏の筋肉以外の組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物C（産卵鶏の卵黄）、代謝物D（泌乳山羊の乳）、代謝物E（産卵鶏の卵黄）、代謝物G（泌乳山羊の乳）及び代謝物N（産卵鶏の卵白）であった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
C	IN-H2H20	3-ブromo-N-[4-クロロ-2-[[（ヒドロキシメチル）アミノ]カルボニル]-6-メチルフェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド

【代謝物略称一覧】（つづき）

略称	JMPR評価書の略称	化学名
D	IN-HXH44	3-ブromo-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキサミド
E	IN-K7H29	2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-(ヒドロキシメチル)-4(3 <i>H</i>)-キナゾリノン
G	IN-K9T00	3-ブromo-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(ヒドロキシメチル)アミノ]カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキサミド
M	IN-F9N04	N-[2-(アミノカルボニル)-4-クロロ-6-メチルフェニル]-3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-カルボキサミド
N	IN-GAZ70	2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-メチル-4(3 <i>H</i>)-キナゾリノン
O	IN-EQW78	2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-3,8-ジメチル-4(3 <i>H</i>)-キナゾリノン

4. 作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、酢酸エチルに転溶後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル（SAX）カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、ろ過・濃縮後、0.5 mol/L リン酸緩衝液（pH 7.0）に転溶する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C₁₈）カラム及びグラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル（NH₂）積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、酢酸エチルに転溶する。グラファイトカーボン/SAX/エチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

または、必要に応じて試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、塩化ナトリウム及びリン酸緩衝液による塩析並びに*n*-ヘキサン洗浄を行う。グラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラム及び必要に応じてグラファイトカーボン/NH₂/シリカゲル積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/NH₂積層カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、LC-

MS/MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、塩化ナトリウム及びリン酸緩衝液を加えて塩析する。グラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、C₁₈カラム、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV)で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、LC-MSで定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、グラファイトカーボン/PSA積層カラム又はグラファイトカーボン/NH₂積層カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

あるいは、試料に水を加えアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/NH₂積層カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

定量限界 0.01～0.05 mg/kg

【海外】

変更なし（添付資料1参照）

（2）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、レタス等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。

海外作物残留試験成績の概要については、別紙2-2～2-4を参照。

5. 魚介類における推定残留濃度

変更なし（添付資料1参照）

6. 畜産物における推定残留濃度

変更なし（添付資料1参照）

7. 許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価において、クロラントラニリプロールのADIを1.5 mg/kg体重/日、ARfDは設定の必要なしと評価されている。

8. 諸外国における状況

変更なし（添付資料1参照）

なお、国際基準は、2021年及び2023年にアボカド、茶等に基準値が設定されている。

9. 残留規制

（1）残留の規制対象：変更なし

クロラントラニリプロールとする。

農産物については、植物代謝試験において可食部での主な残留物は親化合物であり、10%TRR以上認められる代謝物はなかった。

畜産物については、家畜代謝試験において筋肉以外のすべての組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められた。いくつかの代謝物が10%TRR以上認められたが、分析の指標としては親化合物のみで十分であると考えられる。

これらのことから、規制対象はクロラントラニリプロールのみとする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

10. 暴露評価

(1) 暴露評価対象：変更なし

クロラントラニリプロールとする。

農産物については、植物代謝試験において可食部での主な残留物は親化合物であり、10%TRR以上認められる代謝物はなかった。

畜産物については、家畜代謝試験において筋肉以外のすべての組織並びに乳及び卵で親化合物の残留が認められた。卵全体で代謝物N、乳で代謝物D及び代謝物Gが10%TRR以上認められた。卵黄で代謝物C及び代謝物Eが10%TRR以上認められたが、卵全体では10%TRR未満であった。家畜残留試験においては、乳牛では高投与量以外では親化合物が主要な残留物だが、産卵鶏では親化合物より代謝物の残留量が多い組織もみられた。しかしながら、JMPR評価書によれば、いずれの代謝物も毒性面での懸念はなく、親化合物も代謝物も生体内から急速に消失し、毒性も低いと考えられる。

以上のことに加え、JMPRの評価において、農産物及び畜産物の暴露評価対象はクロラントラニリプロールのみであることを踏まえ、暴露評価対象はクロラントラニリプロールのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をクロラントラニリプロール(親化合物のみ)としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	1.5
幼小児 (1～6歳)	2.6
妊婦	1.4
高齢者 (65歳以上)	1.7

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
稲	1.5% WP 配合剤1	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	500 g/10 a	移植時	—	1回	1回
	0.75% GR 配合剤2	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤3	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤4	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤5	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤6	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤7	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤8	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤9	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤10	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤11	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤12	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤13	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
	0.75% GR 配合剤14	側条施用	1 kg/10 a	移植時	—	1回	
稲(箱育苗)	50.0% SC	種子吹き付け処理 又は塗沫処理	乾燥種もみ1 kg当たり 原液4～7 mL	は種前浸種前	—	1回	1回
	1.0% GR	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日	—	1回	
	0.75% GR	育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回	
				は種時覆土前～ 移植当日			
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g) 育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植当日	—		
				は種時覆土前～ 移植当日			
	25.0% WP 配合剤15	土壌灌注	1000倍	は種時	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L)1箱当たり 希釈液1 L	1回	
				は種時～出芽時 ただし、移植 15日前まで			
	500倍		は種時	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L)1箱当たり 希釈液500 mL			
は種時～出芽時 ただし、移植 15日前まで							

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤2	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～移植当日	—	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	移植3日前～移植当日			
				は種時覆土前～移植当日			
				移植3日前～移植当日			
	0.75% GR 配合剤3	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
			緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤4	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時覆土前～移植当日			
				は種時覆土前			
				は種時覆土前～移植当日			
	0.75% GR 配合剤5	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種前	—	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時覆土前～移植当日			
				は種時覆土前			
	は種時覆土前～移植当日						
	0.75% GR 配合剤6	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤7	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g							

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤8	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	緑化期～移植当日			
				育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g			
			緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤9	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	緑化期～移植当日			
				育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g			
			緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤10	本剤の所定量を育苗箱の床土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
		本剤の所定量を育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
		本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時(覆土前)～移植当日	—	1回	
				は種時(覆土前)			
				移植3日前～移植当日			
				移植当日			
				緑化期～移植当日			
				は種時(覆土前)～移植当日			
				は種時覆土前			
				移植3日前～移植当日			
				移植当日			
				緑化期～移植当日			

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤11	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	1回
				移植当日			
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日			
				移植当日			
				緑化期～移植当日			
	0.75% GR 配合剤12	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤13	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
			緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤14	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤16	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日			
				移植3日前～ 移植当日			
	0.75% GR 配合剤17	育苗箱の上から均 一に散布する。	高密度には種する場 合は1 kg/10 a(育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植7日前～ 移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤18	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～移植当日	—	1回	1回
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	移植当日			
				は種時覆土前～移植当日			
			移植当日				
	0.75% GR 配合剤19	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤20	育苗箱の床土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回	
				は種時覆土前～移植当日			
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時覆土前			
				は種時覆土前～移植当日			
	0.75% GR 配合剤21	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
	0.75% GR 配合剤22	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土後～移植当日	—	1回	
				移植当日			
緑化期～移植当日							
育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g			は種時覆土後～移植当日				
			は種時覆土後～緑化始期				
			移植当日				
			緑化期～移植当日				

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤23	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前	—	1回		
				は種時覆土前～移植当日				
	0.75% GR 配合剤24	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回		
				移植当日				
				育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				は種時覆土前～移植当日
								移植当日
	0.75% GR 配合剤25	育苗培土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
		育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
		育苗箱の床土に均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱 当たり50～100 g)	は種時覆土前	—	1回		
								育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g
	0.75% GR 配合剤26	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～当日	—	1回		
	0.75% GR 配合剤27	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～移植	—	1回		
				育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g				は種時覆土前～移植当日
								移植3日前～移植当日
	0.75% GR 配合剤28	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱 当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	—	1回		
								育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリブ ロールを含む 農薬の総使用回数	
稲(箱育苗)	0.75% GR 配合剤29	本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日	—	1回	1回	
				移植当日				
				緑化期～移植当日				
	0.75% GR 配合剤30	育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種前	—	1回		
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	は種時覆土前～ 移植当日	—	1回		
	0.75% GR 配合剤31	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日				
	0.75% GR 配合剤32	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種前	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g					
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	は種時覆土前～ 移植当日				1回
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日				
	0.75% GR 配合剤33	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植当日	—	1回		
			育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり50 g	移植3日前～ 移植当日				
湛水直播水稻	0.75% GR 配合剤11	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	—	1回	1回	
	0.75% GR 配合剤12	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	—	1回		
直播水稻	50.0% SC	種子吹き付け処理又は塗沫処理	乾燥種もみ1 kg 当たり原液4～7 mL	は種前	—	1回	1回	
とうもろこし	50.0% SC	塗沫処理	乾燥種子1000粒 当たり原液1.5～2.5 mL	は種前	—	1回	4回以内(は種前の塗沫処理は1回以内、 は種後は3回以内)	
	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内		
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内		
			16倍		1.6 L/10 a			

クロラントラニプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニプロールを含む 農薬の総使用回数
だいず	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機 による散布	16～32倍	収穫7日前まで	0.8 L/10 a	2回以内	
あずき	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
豆類(種実、ただし、だいず、あずき、らっかせいを除く)	5.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さといも	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
かんしょ	5.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	16倍	収穫前日まで	0.8～1.6 L/10 a	3回以内	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
やまのいも	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
てんさい	5.0% SC	散布	4000～5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さとうきび	10.0% SC	散布	5000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(粒剤は1回 以内、水和剤は 3回以内)
		無人航空機 による散布	50倍	収穫30日前まで	2.4 L/10 a	3回以内	
	0.50% GR	株元散布	6 kg/10 a	生育期 ただし最終 培土まで	－	1回	
			4～6 kg/10 a				
		植溝土壌混和	6 kg/10 a	植付時	－	1回	
			4～6 kg/10 a				
4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内		
はつかだいこん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	1回	1回
だいこん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
かぶ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
クレソン (土耕栽培)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
はくさい	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内）
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル 成型育苗トレイ 又はペーパーポッ トの上から均一に 散布する。	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 （約30×60 cm、使用土 壌約1.5～4 L）当たり50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤36	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
非結球はくさい	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（灌注は1回 以内、散布は 2回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリブ ローールを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は3回 以内)
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	500倍	育苗期後半～ 定植当日	苗地床1 m ² 当たり2 L	1回	
			100倍		セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル 成型育苗トレイ 又はペーパーポッ トの上から均一に 散布する。	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 (約30×60 cm、使用土 壌約1.5～4 L)当たり 50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤36	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	1000倍	は種時～育苗期 後半	苗地床1 m ² 当たり2 L	1回	
			200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー		
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
4.0% WP 配合剤35	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回		
カリフラワー	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回 以内、散布は 3回以内)
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
ブロッコリー	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内)
		無人航空機による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパー	1回	
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～定植時	—	1回	
		本剤の所定量をセル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期後半～定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤36	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
茎ブロッコリー	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
		灌注	100倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
タアサイ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(灌注は1回以内、散布は2回以内)
		灌注	100倍	育苗期後半～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
なばな類	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（灌注は1回 以内、散布は 3回以内）
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	8.7% SC 配合剤36	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
非結球あぶらな科 葉菜類（タアサ イ、非結球はくさ い、なばな類 を除く）	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス類	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時ま での処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
			1000～2000倍				
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
レタス	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	4回以内（定植時ま での処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内）
		本剤の所定量をセル 成型育苗トレイ 又はペーパーポッ トの上から均一に 散布する。	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 （約30×60 cm、使用土 壌約1.5～4 L） 当たり50 g	育苗期後半～ 定植当日	—	1回	
	8.7% SC 配合剤36	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	4.0% WP 配合剤35	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L） 当たり0.5 L	1回	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリ プロールを含む 農薬の総使用回数
非結球レタス	8.7% SC 配合剤36	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	4回以内(定植時ま での処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	4.0% WP 配合剤35	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
ふき	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ふき(ふきのとう)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫120日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ねぎ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回 以内、定植後の 処理は3回以内)
		無人航空機 による散布	20倍	収穫3日前まで	1～2 L/10 a	3回以内	
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
	8.7% SC 配合剤36	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
	5.0% WP 配合剤34	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	4.0% WP 配合剤35	灌注	100倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
アスパラガス	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
らっきょう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	2回以内	
パセリ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	2回以内(灌注は1回 以内、散布は 1回以内)
	8.7% SC 配合剤36	灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	セル成型育苗トレイ 1箱又はペーパー ポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5 ～4 L) 当たり0.5 L	1回	
せり科葉菜類 (パセリを除く)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで た だし、みつばの伏せ 込み栽培は伏せ込み 前まで	100～300 L/10 a	1回	1回

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリ プロールを含む 農薬の総使用回数
トマト	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時までの 処理は1回以内、 散布は 3回以内)
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
ミニトマト	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回 以内、散布は 3回以内)
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
ピーマン	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(灌注は1回 以内、散布は 2回以内)
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり25 mL	1回	
なす	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの 処理は1回以内、 散布は 2回以内)
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
5.0% WP 配合剤 ³⁴	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内		
とうがらし類	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(灌注は1回 以内、散布は 3回以内)
		灌注	100倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり25 mL	1回	
きゅうり	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内(定植時までの 処理は1回以内、 散布は 3回以内)
			1000～2000倍				
		灌注	200倍	育苗期後半～ 定植当日	1株当たり50 mL	1回	
			100～200倍		1株当たり25 mL		
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半～ 定植時	—	1回	
5.0% WP 配合剤 ³⁴	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内		
ズッキーニ	5.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
すいか	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	5.0% WP 配合剤 ³⁴	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
とうがん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にがうり	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ほうれんそう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
オクラ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
しょうが	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	20倍	収穫前日まで	1～2 L/10 a	3回以内	
さやえんどう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
さやいんげん	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
実えんどう	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
えだまめ	5.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機 による散布	16～32倍	収穫3日前まで	0.8 L/10 a	3回以内	
アマランサス(茎 葉)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
えごま(葉)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
エンサイ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
つるむらさき	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
モロヘイヤ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
未成熟さざげ	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
未成熟そらまめ	5.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
りんご	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
もも	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
ネクタリン	10.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
あんず	10.0% SC	散布	2500倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
すもも	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
うめ	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
	4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（国内）

2025年9月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロラントラニリプロールを含む 農薬の総使用回数
おうとう	10.0% SC	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2500倍				
いちご	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふさすぐり	10.0% SC	散布	2500倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
ぶどう	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
かき	10.0% SC	散布	5000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	4.0% WP 配合剤35	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
ごま	5.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
茶	10.0% SC	散布	2000～4000倍	摘採3日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
			2000倍				
しそ科葉菜類(えごま(葉)を除く)	5.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

WP：水和剤

GR：粒剤

SC：フロアブル

配合剤1：48.0%プロベナゾール

配合剤2：0.75%トリフルメゾピリム

配合剤3：0.75%トリフルメゾピリム・10.0%プロベナゾール

配合剤4：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル

配合剤5：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%ジクロベンチアゾクス

配合剤6：0.75%トリフルメゾピリム・4.0%トルプロカルブ

配合剤7：0.75%トリフルメゾピリム・4.5%シメコナゾール・4.0%トルプロカルブ

配合剤8：0.75%トリフルメゾピリム・6.0%チアジニル

配合剤9：0.75%トリフルメゾピリム・6.0%チアジニル・3.0%チフルザミド

配合剤10：12.0%チアジニル

配合剤11：24.0%プロベナゾール

配合剤12：3.0%チフルザミド・24.0%プロベナゾール

配合剤13：3.0%ピメトロジン・10.0%プロベナゾール

配合剤14：6.0%ジノテフラン・4.0%トルプロカルブ

配合剤15：12.5%アミスルプロム

配合剤16：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤17：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%イソチアニル・4.0%フラメトピル

配合剤18：0.75%トリフルメゾピリム・2.0%ジクロベンチアゾクス・1.5%フルキサピロキサド

配合剤19：0.75%トリフルメゾピリム・4.0%トリシクラゾール

配合剤20：1.5%クロチアニジン・2.0%イソチアニル

配合剤21：1.5%クロチアニジン・2.0%イソチアニル・4.0%フラメトピル

配合剤22：12.0%イソプロチオラン

配合剤23：2.0%イミダクロプリド・2.0%イソチアニル

配合剤24：2.0%イミダクロプリド・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン

配合剤25：20.0%プロベナゾール

配合剤26：3.0%チフルザミド・4.0%トリシクラゾール

配合剤27：3.0%ピメトロジン

配合剤28：3.0%ピメトロジン・3.0%チフルザミド・10.0%プロベナゾール

配合剤29：3.0%ピメトロジン・6.0%チアジニル

配合剤30：4.0%トリシクラゾール

配合剤31：5.0%ベンフラカルブ

配合剤32：6.0%ジノテフラン

配合剤33：6.0%ベンフラカルブ・10.0%プロベナゾール

配合剤34：2.0%エマメクチン安息香酸塩

配合剤35：15.0%ジノテフラン

配合剤36：17.5%チアメトキサム

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

ー：規定されていない項目

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法 (米国)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
穀類 (とうもろこし及び稲を 除く。) (Group 15)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
とうもろこし	18.4% SC	散布	収穫14日前まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
さとうきび	18.4% SC	散布	収穫14日前まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
あぶらな属野菜 (Subgroup 5A及び5B)	18.4% SC	散布	収穫3日前まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内 (滴下処理は2回以 内、ただし既に植 付時土壌処理を 行っている場合は 1回以内)	0.2 lb ai/acre
		植付時土壌処理				
		滴下処理				
鱗茎野菜類 (Subgroup 3-07A 及び3-07B)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
根菜類	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
仁果類 (Group 11-10)	35% WG	散布	収穫5日前まで (mayhawは収穫 14日前まで)	0.055～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
核果類 (Group 12-12)	35% WG	散布	収穫10日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
ケインベリー類 (Subgroup 13-07A)	35% WG	散布	収穫3日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
ブッシュベリー類 (Subgroup 13-07B)	35% WG	散布	収穫前日まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
オイルシード類 (Group 20)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.026～0.098 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
ナッツ類 (Group 14-12)	35% WG	散布	収穫10日前まで	0.044～0.099 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre
コーヒー豆	35% WG	散布	収穫7日前まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
カカオ豆	35% WG	散布	収穫前日まで	0.066～0.099 lb ai/acre	3回以内	0.2 lb ai/acre
スパイス類 (Subgroup 19B)	18.4% SC	散布	収穫前日まで	0.045～0.065 lb ai/acre	4回以内	0.2 lb ai/acre

SC : フロアブル

WG : 顆粒水和剤

ai : active ingredient (有効成分)

lb : ポンド (1 lb = 0.45359237 kg)

acre : エーカー (1 acre = 約4,047 m²)

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（豪州）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数
緑豆	35% WG	散布	収穫14日前まで	22.5 g ai/ha	2回以内

WG：顆粒水和剤

ai：active ingredient（有効成分）

クロラントラニリプロールの適用の範囲及び使用方法（ニュージーランド）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たりの使用量	使用回数	栽培期間中の 総使用量
アボカド	35% WG	散布	収穫14日前まで	3.15 g ai/100 L	2回以内	94.5 g ai/ha

WG：顆粒水和剤

ai：active ingredient（有効成分）

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲 (玄米)	2	1.0% GR	50 g/箱 育苗箱処理	1	119	圃場A : <0.01	
					137	圃場B : <0.01	
	6	50% SC	7 mL原液/1 kg 乾燥種粒 塗抹処理	1	121	圃場A : <0.01	
					128	圃場B : <0.01	
					134	圃場C : <0.01	
					139	圃場D : <0.01	
					146	圃場E : <0.01	
					147	圃場F : <0.01	
水稲 (粳米)	6	50% SC	7 mL原液/1 kg 乾燥種粒 塗抹処理	1	121	圃場A : 0.01	
					128	圃場B : <0.01	
					134	圃場C : 0.01	
					139	圃場D : <0.01	
					146	圃場E : <0.01	
					147	圃場F : <0.01	
未成熟とうもろこし (子実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01	◎
						圃場B : <0.01	
	3	50% SC	2.5 mL原液/種子1000粒 塗抹処理	1	78	圃場A : <0.01	
					80	圃場B : <0.01	
					92	圃場C : <0.01	
とうもろこし (乾燥子実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 191~200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
だいず (乾燥子実)	2	5.0% SC	4000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.02 (#)	
						圃場B : <0.01 (#)	
	4		4000倍 散布 177~189 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : <0.01 (#)	
						圃場B : <0.01 (#)	
						圃場C : <0.01 (#)	
						圃場D : <0.01 (#)	
	4		4000倍 散布 177~200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01	
						圃場B : <0.01	
					圃場C : <0.01		
					圃場D : <0.01		
2	16倍 0.8 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	2	7, 14, 21	圃場A : 0.01 圃場B : 0.01			
いんげんまめ (乾燥子実)	2	5.0% SC	4000倍 散布 180, 183 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
さといも (塊茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 166, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	◎
かんしょ (塊根)	2	5.0% SC	2000倍 散布 180, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
	2		2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
2	16倍 1.6 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01			
やまのいも (塊茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 195, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	◎
さとうきび (茎)	2	5.0% SC	5000倍 散布 222, 243 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : <0.01 (#)	
		0.50% GR +10.0% SC	6 kg株元 散布+ 5000倍散布 278, 200 L/10 a			1+3	
だいこん (葉部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A : 1.66	
					1, 3, 7, 14	圃場B : 1.00	
だいこん (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A : <0.01	
					1, 3, 7, 14	圃場B : <0.01	
はつかだいこん (茎部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A : 6.62 (1回, 3日) 圃場B : 6.50	
はつかだいこん (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
かぶ (葉部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.98 圃場B : 3.28	
かぶ (根部)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.02 (3回, 14日) 圃場B : 0.03	◎

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
てんさい (根部)	3	5.0% SC	4000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : <0.01	
クレソン (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 3.08 圃場B : 1.22	
はくさい (茎葉)	4	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.22 (4回, 3日)	
						圃場B : 0.30 (4回, 3日)	
					1, 3, 7, 14	圃場C : 0.34	
						圃場D : 0.09 (4回, 3日)	
キャベツ (葉球)	4	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 200, 250~300, 202 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.24	
						圃場B : 1.69	
					1, 3, 7, 14	圃場A : 0.08 (4回, 3日)	
						圃場B : 0.08 (4回, 3日)	
こまつな (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場C : 0.04	
						圃場D : 0.53	
					1, 3, 7, 14	圃場A : 0.31 (4回, 3日)	
						圃場B : 0.32	
みずな (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 3.04 (2回, 3日) 圃場B : 1.22	
チンゲンサイ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 180, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 5.76 圃場B : 1.02	
カリフラワー (花蕾)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300, 210 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.46 圃場B : 1.56	
						圃場A : 0.24 (3回, 3日) 圃場B : <0.01	
					1, 3, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.18	
						圃場A : 0.19 (4回, 3日) 圃場B : 0.10 (4回, 3日) (#)	
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 200, 70~150 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.60 (4回, 1日) (#) 圃場B : 0.34 (4回, 1日) (#)	
						圃場A : 0.25 圃場B : 0.26	
					1, 3, 7, 14	圃場A : 0.35 圃場B : 0.66	
						圃場A : 0.54 圃場B : 0.52	
タアサイ (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.73 圃場B : 2.70	
あすっこ (花・花茎)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注	1	82, 89, 96	圃場A : <0.02 (1回, 82日) 圃場B : <0.02 (1回, 82日)	
なばな (茎葉)	2	8.7% SC +5.0% SC	200倍500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 200, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 1.00 圃場B : 0.50	
ひろしまな (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +2000倍 散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.72 圃場B : 0.53	
レタス (茎葉)	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 2.51 (4回, 7日) 圃場B : 0.46 (4回, 3日)	
						圃場A : 1.24 圃場B : 0.69	
			100倍 500 mL/セトレイ灌注 +1000倍 散布 223, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.24 圃場B : 1.34	
						圃場A : 1.91 (4回, 3日) 圃場B : 1.22	
			1 g/株 植穴処理 +1000倍 散布 250~258, 278~279 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.83 圃場B : 6.70	
						圃場A : 6.98 圃場B : 8.46	◎
リーフレタス (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 1.83 圃場B : 6.70	
	2	5.0% SC	100倍 500 mL/セトレイ灌注 +1000倍 散布 150, 193.3 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 6.98 圃場B : 8.46	◎

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
サラダ菜 (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 2.40 (2回, 3日) 圃場B : 2.31	◎
	2		100倍 500m L/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 193.3, 200 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 5.82 圃場B : 8.63	
ふき (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.19 圃場B : 0.29	
ふきのとう (花穂)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	2	120, 135, 150	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
ねぎ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.19 圃場B : 0.61	
	2		100倍 500 mL/セット ^{注1)} 灌注 +2000倍散布 192, 180 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09 圃場B : 0.26	
アスパラガス (若茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.02 圃場B : 0.02	◎
らっきょう (鱗茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
パセリ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 397 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 5.62 圃場B : 6.10 (#)	◎
	2	8.7% SC +5.0% SC	200倍 500 mL/セット ^{注1)} 灌注 +2000倍散布 200 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A : 7.72 (2回, 14日) 圃場B : 5.10	
コリアンダー (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 176, 183 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A : 1.98 圃場B : 1.18	
トマト (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.04 (4回, 7日) 圃場B : 0.16	
ミニトマト (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +2000倍 散布 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.10 (4回, 3日) 圃場B : 0.06	
ピーマン (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 200, 250 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.21 圃場B : 0.35	◎
なす (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.05 圃場B : 0.22	◎
ししとう (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 281, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.12 (4回, 1日) 圃場B : 2.50 (4回, 1日)	
甘長とうがらし (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 180, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.04 (4回, 1日) 圃場B : 1.26 (4回, 1日)	
きゅうり (果実)	2	5.0% SC	100倍 25 mL/セット ^{注1)} 灌注 +1000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.06	
すいか (果肉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
すいか (果皮)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.29 圃場B : 0.12	
すいか (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.06 ^{注2)} 圃場B : 0.04 ^{注2)}	
メロン (果肉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
メロン (果皮)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 (3回, 3日) 圃場B : 0.48 (3回, 3日)	
メロン (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.10 ^{注3)} (3回, 3日) 圃場B : 0.10 ^{注3)}	
とうがん (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
にがうり (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.12 (3回, 3日) 圃場B : 0.47	
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 152.4, 182.65~182.86 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 3.99 (3回, 14日) 圃場B : 3.99	
オクラ (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 280, 225~275 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.15 圃場B : 0.27	◎
しょうが (根茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 166, 178~180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.01 (3回, 7日) 圃場B : <0.01	◎
さやえんどう (さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200, 181 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.26 圃場B : 0.13	
さやいんげん (さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 168~194, 183 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.18 圃場B : 0.14 (3回, 7日)	
えだまめ (さや)	2	5.0% SC	4000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.12 圃場B : 0.26	◎

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
えごま (葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 6.80 圃場B : 13.6	
エンサイ (葉茎)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 6.50 (2回, 3日) 圃場B : 3.64	
つるむらさき (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 1.38 圃場B : 2.20	
モロヘイヤ (茎葉)	3	5.0% SC	2000倍 散布 480, 420, 750 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7	圃場A : 14.4 (2回, 1日) (＃) 圃場B : 8.32 (2回, 1日) (＃) 圃場C : 7.26 (2回, 1日) (＃)	
未成熟ささげ (未成熟さや)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.66 圃場B : 0.42	
未成熟そらまめ (さや)	2	5.0% SC	1000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : <0.01	
アマランサス (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.83 圃場B : 3.25	
りんご (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 600, 500, 500, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.26 (3回, 3日) 圃場B : 0.10 (3回, 3日) 圃場C : 0.34 圃場D : 0.18	◎
なし (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 400, 700, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.14 (3回, 3日) 圃場B : 0.15 (3回, 3日) 圃場C : 0.30 圃場D : 0.16	
もも (果肉)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.02 (2回, 3日) 圃場B : <0.01 (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01	
もも (果皮)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.38 (2回, 3日) 圃場B : 0.59 (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.14 圃場B : 1.22	
もも (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.22 ^{注4} (2回, 3日) 圃場B : 0.10 ^{注4} (2回, 3日)	
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.18 ^{注4} 圃場B : 0.19 ^{注4}	
ネクタリン (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08	
あんず (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 625, 400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.62 圃場B : 0.32 (3回, 14日)	
すもも (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.04 (3回, 14日) 圃場B : 0.08	
うめ (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 313, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.44 圃場B : 0.32	
おうとう (果実)	4	10.0% SC	2500倍 散布 700, 500, 417, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.38 (3回, 3日) 圃場B : 0.23 (3回, 3日)	
					1, 3, 7, 14	圃場C : 0.12 圃場D : 0.18	
いちご (果実)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.22	
ふさすぐり (果実)	2	10.0% SC	2500倍 散布 250, 111 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.88 圃場B : 1.10 (＃)	◎
ぶどう (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 300, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.13 (3回, 3日) 圃場B : 0.43 (3回, 3日)	◎
かき (果実)	2	10.0% SC	5000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.06 圃場B : 0.06 (3回, 3日)	◎
ごま (種子)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.03	
茶 (荒茶)	2	10.0% SC	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 27.5 圃場B : 33.8	
茶 (浸出液)	2	10.0% SC	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6	
バジル (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 8.08 圃場B : 5.86	

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg） ^{注1)}	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
しそ (茎葉)	2	5.0% SC	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 7.76 圃場B : 17.3	◎

GR : 粒剤

SC : フロアブル

(H)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉77%及び果皮23%として果実全体の残留濃度を算出した。

注3) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉88%及び果皮12%として果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータからそれぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦	5	18.4% SC	0.201~0.209 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 0.225 (#)	
						圃場B : 0.192 (#)	
						圃場C : 0.183 (#)	
						圃場D : 0.254 (#)	
						圃場E : 0.409 (#)	
大麦	3	18.4% SC	0.200~0.207 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 1.96 (#)	◎
						圃場B : 1.91 (#)	
						圃場C : 1.93 (#)	
ソルガム	3	18.4% SC	0.200~0.202 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 1.16 (#)	
						圃場B : 1.49 (#)	
						圃場C : 0.786 (#)	
とうもろこし (茎葉)	14	18.4% SC	0.098~0.104 lb ai/acre散布	2	13	圃場A : 5.4	◎
						圃場B : 5.315	
					14	圃場C : 2.615	
						圃場D : 0.69	
						圃場E : 12.04	
						圃場F : 3.635	
						圃場G : 3.955	
						圃場H : 0.824	
						圃場I : 2.085	
						圃場J : 2.075	
						圃場K : 7.69	
						圃場L : 4.52	
						圃場M : 7.1	
						圃場N : 2.36	
	7	18.4% SC	0.094~0.104 lb ai/acre散布	2	13	圃場A : 1.7	
						圃場B : 3.1	
					14	圃場C : 3.1	
						圃場D : 2.8	
					15	圃場E : 3.7	
						圃場F : 2.2	
						圃場G : 3.8	
キャベツ (外葉あり)	11	18.4% SC	110~118 g ai/ha散布	2	3	圃場A : 0.64	◎
						圃場B : 0.28	
						圃場C : 0.033	
						圃場D : 0.51	
						圃場E : 0.48	
						圃場F : 0.066	
						圃場G : 0.29	
						圃場H : 1.1	
						圃場I : 0.75	
						圃場J : 2.9	
						圃場K : 2.2	
	1	18.4% SC	112~116 g ai/ha散布	2	4	圃場A : 0.10	
キャベツ (外葉なし)	3	18.4% SC	110~118 g ai/ha散布	2	3	圃場A : 0.037	
						圃場B : 0.078	
						圃場C : 0.077	
ブロッコリー (花蕾)	1	18.4% SC	113~114 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 0.67 (2回, 1日)	
	8	18.4% SC	109~116 g ai/ha散布	2	3	圃場A : 0.32	
						圃場B : 0.30	
						圃場C : 0.40	
						圃場D : 0.38	
						圃場E : 0.32	
						圃場F : 0.41	
						圃場G : 0.35	
						圃場H : 0.12	
ねぎ	5	18.4% SC	0.199~0.203 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 0.653 (#)	◎
						圃場B : 0.406 (#)	
						圃場C : 0.787 (#)	
						圃場D : 1.49 (#)	
						圃場E : 0.717 (#)	

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご (果実)	1	35% WG	112 g ai/ha散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.13	◎
	13	35% WG	111~118 g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.022	
						圃場B : 0.056	
						圃場C : 0.11	
						圃場D : 0.074	
						圃場E : 0.038	
						圃場F : 0.010	
						圃場G : 0.012	
						圃場H : 0.088	
						圃場I : 0.045	
						圃場J : 0.093	
						圃場K : 0.061	
						圃場L : 0.23	
						圃場M : 0.078	
	3	35% WG	109~113 g ai/ha散布	2	15	圃場A : 0.073	
						圃場B : 0.072	
						圃場C : 0.030	
なし (果実)	1	35% WG	113~115 g ai/ha散布	2	10	圃場A : 0.054	
	3	35% WG	112 g ai/ha散布	2	13	圃場A : 0.033	
						圃場B : 0.059	
	7	35% WG	112~113 g ai/ha散布	2	14	圃場C : 0.085	
						圃場A : 0.026	
						圃場B : 0.070	
						圃場C : 0.10	
						圃場D : 0.016	
						圃場E : 0.12	
						圃場F : 0.13	
						圃場G : 0.070	
もも (果実)	1	35% WG	115.71~116.13 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 10, 14	圃場A : 0.158	
	1	35% WG	111.69~112.42 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 11, 15	圃場A : 0.318	
	2	35% WG	110.69~112.34 g ai/ha散布	2	9	圃場A : 0.0720	
						圃場B : 0.125	
	9	35% WG	111.37~113.65 g ai/ha散布	2	10	圃場A : 0.247	
						圃場B : 0.144	
						圃場C : 0.132	
						圃場D : 0.165	
						圃場E : 0.0639	
						圃場F : 0.0916	
	3	35% WG	112.42~115.47 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	10	圃場G : 0.101	
						圃場H : 0.0827	
	3	35% WG	110.35~115.85 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場I : 0.122	
						圃場A : 0.106	
	4	35% WG	109.77~115.87 g ai/ha散布	2	11	圃場B : 0.891	
						圃場C : 0.142	
						圃場A : 0.114	
						圃場B : 0.132	
すもも (果実)	1	35% WG	111~112 g ai/ha散布	2	0, 5, 10, 14, 21	圃場C : 0.101	
	10	35% WG	105~112 g ai/ha散布	2	10	圃場A : 0.0897	
						圃場B : 0.105	
						圃場C : 0.309	
						圃場D : 0.183	
						圃場A : 0.004	
						圃場B : 0.026	
						圃場C : 0.017	
						圃場D : 0.067	
						圃場E : 0.066	
						圃場F : 0.006	
	3	35% WG	108~111 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	10	圃場G : 0.015	
						圃場H : 0.007	
	3	35% WG	112~118 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場I : 0.007	
						圃場J : 0.009	
						圃場A : 0.011	
						圃場B : 0.022	
						圃場C : 0.049	
						圃場A : 0.011	
						圃場B : 0.029	
						圃場C : 0.076	

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
おとうとう (果実)	2	35% WG	112 g ai/ha散布	2	9	圃場A : 0.11 圃場B : 0.18	◎
	6	35% WG	111～112 g ai/ha散布	2	10	圃場A : 0.26 圃場B : 0.10 圃場C : 0.056 圃場D : 0.36 圃場E : 0.21 圃場F : 0.45	
						圃場A : 0.15 圃場B : 0.48	
						圃場A : 0.19 圃場B : 0.57	
						圃場A : 0.171 (#) 圃場A : 0.0902	
	1	35% WG	0.199 lb ai/acre散布	2	1, 3, 6, 10, 15	圃場A : 0.171 (#)	
ラズベリー (果実)	1	35% WG	0.099～0.103 lb ai/acre散布	2	1, 3, 7, 10	圃場A : 0.235 圃場B : 0.481 圃場C : 0.482 圃場D : 0.513 圃場E : 0.095	◎
	5	35% WG	0100～0.105 lb ai/acre散布	2	3	圃場A : 0.049 圃場B : 0.436	
ブラックベリー (果実)	2	35% WG	0.097～0.100 lb ai/acre散布	2	3	圃場A : 0.176 (#) 圃場B : 0.122 (#) 圃場C : 0.163 (#) 圃場D : 0.108 (#) 圃場E : 0.206 (#) 圃場F : 0.132 (#) 圃場G : 0.749 (#) 圃場H : 0.840 (#) 圃場I : 0.181 (#) 圃場A : 0.234 (#) 圃場A : 0.460 (#)	◎
	9	35% WG	0.198～0.212 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 0.79 (#) 圃場B : 0.12 (#) 圃場C : 0.21 (#) 圃場D : 0.030 (#) 圃場E : 0.82 (#) 圃場F : 0.16 (#)	
ひまわり (種子)	1	35% WG	110～118 g ai/ha散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.078	◎
	1	35% WG	110～112 g ai/ha散布	2	0, 6, 14, 20, 25	圃場A : 0.34 (2回, 6日)	
綿実 (種子)	1	35% WG	112 g ai/ha散布	2	20	圃場A : 0.016 圃場A : 0.022 圃場B : 0.029 圃場C : 0.047 圃場D : 0.082 圃場E : 0.049 圃場F : 0.13 圃場G : 0.083	◎
	7	35% WG	109～114 g ai/ha散布	2	21	圃場A : 0.031 圃場B : 0.054 圃場C : 0.081	
ペカン (可食部)	1	35% WG	112～113 g ai/ha散布	2	23	圃場A : 0.006	◎
	1	35% WG	112～113 g ai/ha散布	2	9	圃場A : 0.015 圃場A : 0.003 圃場B : 0.003 圃場C : 0.007 圃場D : 0.014 圃場E : 0.009	
アーモンド (可食部)	5	35% WG	112～114 g ai/ha散布	2	10	圃場A : 0.006 圃場B : 0.007 圃場C : 0.004 圃場D : 0.006 圃場E : 0.004	◎
	1	35% WG	111～112 g ai/ha散布	2	11	圃場A : 0.008 圃場A : 0.098 圃場B : 0.115	
コーヒー豆 (豆)	2	35% WG	52.5 g ai/ha散布	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.188 圃場B : 0.205	◎
	2	35% WG	52.5 g ai/ha散布	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 17.6 (#) 圃場B : 24.3 (#)	
ディル (種子)	2	18.4% SC	0.100～0.101 lb ai/acre散布	2	1	圃場A : 17.6 (#) 圃場B : 24.3 (#)	◎

WG : 顆粒水和剤

SC : フロアブル

ND : not detected (検出限界0.003 mg/kg未満)

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注)}	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
緑豆	2	35% WG	45 g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.42 (#)	◎
						圃場B : 0.32 (#)	

WG：顆粒水和剤

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（ニュージーランド）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アボカド	1	35% WG	94.5 g ai/ha散布	2	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.16 (2回, 7日)	◎
	1				<u>14</u>	圃場A : 0.15	
	1	35% WG	189 g ai/ha 散布	3	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.34 (3回, 1日) (#)	
	1				<u>14</u>	圃場A : 0.31 (#)	

WG：顆粒水和剤

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.1	0.05	○			※1
小麦	6	6		0.02	6.0 米国	【1.91,1.93,1.96(＃)(米国大麦)】
大麦	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
ライ麦	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
とうもろこし	0.05	0.6	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
そば	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
その他の穀類	6	6		0.02	6.0 米国	【小麦参照】
大豆	0.05	0.2	○	0.05		
小豆類	0.7	1	○	0.3	0.7 豪州	【0.32,0.42(＃)(豪州緑豆)】
えんどう	0.3	1	○	0.3		
そら豆	0.3	1	○	0.3		
らっかせい	0.06	0.06		0.06		
その他の豆類	0.3	1	○	0.3		
ばれいしょ	0.02	0.02		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
かんしょ	0.02	0.05	○	0.02		
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01(¥)
こんにゃくいも	0.02	0.02		0.02		
その他のいも類	0.02	0.02		0.02		
てんさい	0.02	0.02	○	0.02		
さとうきび	14	14	○	0.5	14 米国	【0.69～12.04(n=21) (米国とうもろこし茎葉)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	0.5	○	0.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	40	40	○	40		
かぶ類の根	0.2	0.2	○	0.02		0.02,0.03(¥)
かぶ類の葉	20	20	○	20		
西洋わさび	0.02	0.02		0.02		
クレソン	20	20	○	20		
はくさい	20	20	○	20		
キャベツ	4	4	○	2	4.0 米国	【0.033～2.9(n=12) (米国キャベツ外葉あり)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ケール	20	20	○	20		
こまつな	20	20	○	20		
きょうな	20	20	○	20		
チンゲンサイ	20	20	○	20		
カリフラワー	4	4	○	2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ブロッコリー	4	4	○	2	4.0 米国	【キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	20	20	○	20		
ごぼう	0.02	0.02		0.02		
サルシフィー	0.02	0.02		0.02		
アーティチョーク	2	2		2		
チコリ	30	20	申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
エンダイブ	30	20	申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
しゅんぎく	20	20		20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	30	20	○・申	20		5.82,8.63(＃)(サラダ菜)、 6.98(＃)(リーフレタス)
その他のきく科野菜	30	20	○・申	20		(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))参照
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○		3.0 米国	【0.406～1.49(＃)(n=5)(米国)】
にら	3	3			3.0 米国	【ねぎ(リーキを含む。))参照】
アスパラガス	0.1	0.1	○			0.02,0.02(¥)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
その他のゆり科野菜	3	3	○		3.0 米国	【ねぎ(リーキを含む。)参照】
にんじん	0.08	0.08	○	0.08		
パースニップ	0.02	0.02		0.02		
パセリ	15	15	○			5.10,7.72(¥)
セロリ	15	15	○	7		(パセリ参照)
みつば	15	15	○			(パセリ参照)
その他のせり科野菜	15	15	○	0.02		(パセリ参照)
トマト	0.6	0.7	○	0.6		
ピーマン	1	1	○	0.6		0.21,0.35(¥)
なす	0.7	0.7	○	0.6		0.05,0.22(¥)
その他のなす科野菜	20	20	○	20		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
しろり	0.3	0.3		0.3		
すいか		0.1	○			
すいか(果皮を含む。)	0.3		○	0.3		
メロン類果実		0.1	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.3		○	0.3		
まくわうり		0.1				
まくわうり(果皮を含む。)	0.3			0.3		
その他のうり科野菜	20	20	○	20		
ほうれんそう	20	20	○	20		
オクラ	0.7	0.7	○	0.6		0.15,0.27(¥)
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,0.01(¥)
未成熟えんどう	2	2	○	2		
未成熟いんげん	0.8	2	○	0.8		
えだまめ	0.7	1	○			0.12,0.26(¥)
マッシュルーム	0.6	0.6		0.6		
しいたけ	0.6	0.6		0.6		
その他のきのこ類	0.6	0.6		0.6		
その他の野菜	20	20	○	20		
みかん		0.2				
みかん(外果皮を含む。)	0.7			0.7		
なつみかんの果実全体	0.7	0.7		0.7		
レモン	0.7	0.7		0.7		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.7		0.7		
グレープフルーツ	0.7	0.7		0.7		
ライム	0.7	0.7		0.7		
その他のかんきつ類果実	0.7	0.7		0.7		
りんご	1	1	○	0.4		0.34,0.18(¥)
日本なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【0.010～0.23(n=17)(米国りんご)】
西洋なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【日本なし参照】
マルメロ	1	1		0.4	1.2 米国	【日本なし参照】
びわ		0.4				
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.4			0.4		
もも		0.4	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	3		○	1	2.5 米国	【0.056～0.45(n=8)(米国おうとう)】
ネクタリン	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
あんず(アブリコットを含む。)	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
すもも(プルーンを含む。)	3	4	○	1	2.5 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
うめ	1	1	○	1		
おうとう(チェリーを含む。)	3	1	○	1	2.5	米国
いちご	1	1	○	1		
ラズベリー	2	2		1	1.8	米国
ブラックベリー	2	2		1	1.8	米国
ブルーベリー	3	3		1	2.5	米国
クランベリー	3	3		1	2.5	米国
ハックルベリー	3	3		1	2.5	米国
その他のベリー類果実	3	3	○	1		
ぶどう	1	2	○	1		
かき	0.3	0.3	○			
アボカド	0.5	0.5		0.3	0.5	ニュージーランド
その他の果実	1	1		1		
ひまわりの種子	2	2		2		
ごまの種子	0.3	0.3	○		0.3	米国
べにばなの種子	2	2			2.0	米国
綿実	0.3	0.3		0.3		
なたね	2	2		2		
その他のオイルシード	0.3	0.3			0.3	米国
ぎんなん	0.02	0.02		0.02		
くり	0.02	0.02		0.02		
ペカン	0.02	0.02		0.02		
アーモンド	0.02	0.02		0.02		
くるみ	0.02	0.02		0.02		
その他のナッツ類	0.02	0.02		0.02		
茶	80	50	○	80		
コーヒード	0.4	0.4		0.05	0.4	米国
カカオ豆	0.08	0.08			0.08	米国 ※3
ホップ	40	40		40		
その他のスパイス	90	90			90	米国
その他のハーブ	25	25	○	20		
牛の筋肉	0.2	0.2		0.2		
豚の筋肉	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.2		
牛の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
豚の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
牛の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
豚の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.2	0.3	米国 ※3

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2		
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2		
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2		
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2		
乳	0.05	0.05		0.05		
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02		
鶏の脂肪	0.08	0.08		0.08		
その他の家きんの脂肪	0.08	0.08		0.08		
鶏の肝臓	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの肝臓	0.07	0.07		0.07		
鶏の腎臓	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの腎臓	0.07	0.07		0.07		
鶏の食用部分	0.07	0.07		0.07		
その他の家きんの食用部分	0.07	0.07		0.07		
鶏の卵	0.2	0.2		0.2		
その他の家きんの卵	0.2	0.2		0.2		
魚介類	0.05	0.05				推:0.05
はちみつ	0.05	0.05				※5
とうがらし(乾燥させたもの)				5		※6

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1)「米」の基準値について;

国際基準における「Rice」については、「粳米」に対する基準値であり、我が国における「玄米」に相当する食品への基準は設定されていない。ただし、2014年のJMPRIによる評価において、精米への加工係数が0.11、米ぬかへの加工係数が1.7と設定されている。また、米の基準値設定のための試験データから、精米と米ぬかの重量比が88%:12%と算出されたことから、「米(玄米)」の基準値として0.1 ppmを設定することとした。

※2) 現行の基準値はIT(インポートトレランス)申請当時の米国分類に基づいた基準値を参照して設定したものであり、現在も米国において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。なお、米国におけるごまの種子及びその他のオイルシードが属するオイルシード類subgroup 20Aの基準値は2.0 ppmに変更されている。

※3) 現行の基準値は、IT申請当時の米国の基準値を参照して設定したものであり、現在も米国において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。なお、米国における牛の脂肪及び肝臓の基準値は0.5 ppmに変更されている。

※4) カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

※5)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※6) 加工食品である「とうがらし(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRIの評価書はとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数を7と算出している。

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.1	0.03	4.9	2.6	3.2	5.4
小麦	6	1.93	115.4	85.5	133.2	96.3
大麦	6	1.93	10.2	8.5	17.0	8.5
ライ麦	6	1.93	0.2	0.2	1.0	0.2
とうもろこし	0.05	0.01	0.0	0.1	0.1	0.0
そば	6	1.93	2.1	1.0	3.5	2.1
その他の穀類	6	1.93	0.4	0.2	0.2	0.6
大豆	0.05	0.01	0.4	0.2	0.3	0.5
小豆類	0.7	0.37	0.9	0.3	0.3	1.4
えんどう	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.3	0.0305	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.02	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.02	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
さとうきび	14	3.1	304.4	259.2	384.7	310.6
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.5	0.055	1.8	0.6	1.1	2.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	40	10.5	17.9	6.3	32.6	29.4
かぶ類の根	0.2	0.025	0.1	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	20	7.3	2.2	0.7	0.7	4.4
西洋わさび	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	7.3	0.7	0.7	0.7	0.7
はくさい	20	7.3	129.2	37.2	121.2	157.7
キャベツ	4	0.495	11.9	5.7	9.4	11.8
芽キャベツ	4	0.495	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	20	7.3	1.5	0.7	0.7	1.5
こまつな	20	7.3	36.5	13.1	46.7	46.7
きょうな	20	7.3	16.1	2.9	10.2	19.7
チンゲンサイ	20	7.3	13.1	5.1	13.1	13.9
カリフラワー	4	0.495	0.2	0.1	0.0	0.2
ブロッコリー	4	0.495	2.6	1.6	2.7	2.8
その他のあぶらな科野菜	20	7.3	24.8	4.4	5.8	35.0
ごぼう	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	0.56	0.1	0.1	0.1	0.1
チコリ	30	6.98	0.7	0.7	0.7	0.7
エンダイブ	30	6.98	0.7	0.7	0.7	0.7
しゅんぎく	20	7.3	11.0	2.2	19.0	18.3
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	6.98	67.0	30.7	79.6	64.2
その他のきく科野菜	30	6.98	10.5	0.7	4.2	18.1
ねぎ (リーキを含む。)	3	0.717	6.7	2.7	4.9	7.7
にら	3	0.717	1.4	0.6	1.3	1.5
アスパラガス	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のゆり科野菜	3	0.717	0.4	0.1	0.1	0.9
にんじん	0.08	0.02	0.4	0.3	0.5	0.4
パースニップ	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	6.41	0.6	0.6	0.6	1.3
セロリ	15	6.41	7.7	3.8	1.9	7.7
みつば	15	6.41	2.6	0.6	0.6	3.2
その他のせり科野菜	15	6.41	1.3	0.6	1.9	1.9
トマト	0.6	0.066	2.1	1.3	2.1	2.4
ピーマン	1	0.28	1.3	0.6	2.1	1.4
なす	0.7	0.135	1.6	0.3	1.4	2.3
その他のなす科野菜	20	7.3	8.0	0.7	8.8	8.8

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	0.065	1.3	0.6	0.9	1.7
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	0.065	0.6	0.2	0.5	0.8
しろうり	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.1
すいか (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.5	0.4	0.9	0.7
メロン類果実 (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.2	0.2	0.3	0.3
まくわうり (果皮を含む。)	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	20	7.3	19.7	8.8	4.4	24.8
ほうれんそう	20	7.3	93.4	43.1	103.7	127.0
オクラ	0.7	0.21	0.3	0.2	0.3	0.4
しょうが	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	2	0.545	0.9	0.3	0.1	1.3
未成熟いんげん	0.8	0.16	0.4	0.2	0.0	0.5
えだまめ	0.7	0.19	0.3	0.2	0.1	0.5
マッシュルーム	0.6	0.066	0.0	0.0	0.1	0.0
しいたけ	0.6	0.066	0.4	0.2	0.2	0.5
その他のきのこ類	0.6	0.066	0.7	0.3	0.7	0.8
その他の野菜	20	7.3	97.8	46.0	73.7	102.9
みかん (外果皮を含む。)	0.7	0.06	1.1	1.0	0.0	1.6
なつみかんの果実全体	0.7	0.06	0.1	0.0	0.3	0.1
レモン	0.7	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.06	0.4	0.9	0.8	0.3
グレープフルーツ	0.7	0.06	0.3	0.1	0.5	0.2
ライム	0.7	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	0.7	0.06	0.4	0.2	0.2	0.6
りんご	1	0.26	6.3	8.0	4.9	8.4
日本なし	1	0.072	0.5	0.2	0.7	0.6
西洋なし	1	0.072	0.0	0.0	0.0	0.0
マルメロ	1	0.072	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.4	0.07	0.0	0.0	0.1	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	3	0.195	0.7	0.7	1.0	0.9
ネクタリン	3	0.195	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	3	0.195	0.0	0.0	0.0	0.1
すもも (ブルーンを含む。)	3	0.195	0.2	0.1	0.1	0.2
うめ	1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.195	0.1	0.1	0.0	0.1
いちご	1	0.119	0.6	0.9	0.6	0.7
ラズベリー	2	0.358	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	2	0.358	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	3	0.181	0.2	0.1	0.1	0.3
クランベリー	3	0.181	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	3	0.181	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	3	0.99	0.1	0.1	0.2	0.1
ぶどう	1	0.28	2.4	2.3	5.7	2.5
かき	0.3	0.06	0.6	0.1	0.2	1.1
アボカド	0.5	0.155	0.0	0.0	0.0	0.1
その他の果実	1	0.119	0.1	0.0	0.1	0.2
ひまわりの種子	2	0.185	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.3	0.052	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	2	0.185	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.3	0.049	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	2	0.295	1.7	1.1	1.6	1.4
その他のオイルシード	0.3	0.052	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0

クロラントラニリプロールの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
茶	80	24.5	161.7	24.5	90.7	230.3
コーヒー豆	0.4	0.152	0.5	0.0	0.0	0.4
カカオ豆	0.08	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	40	10.9	1.1	1.1	1.1	1.1
その他のスパイス	90	20.95	2.1	2.1	2.1	4.2
その他のハーブ	25	12.53	11.3	3.8	1.3	17.5
陸棲哺乳類の肉類	0.3	筋肉 0.009 脂肪 0.2	2.7	2.0	3.0	1.9
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.3	0.18	0.3	0.1	0.9	0.2
陸棲哺乳類の乳類	0.05	0.006	1.6	2.0	2.2	1.3
家さんの肉類	0.08	0.028	0.6	0.4	0.6	0.5
家さんの卵類	0.2	0.099	4.1	3.3	4.8	3.8
魚介類	0.05	0.016	1.5	0.6	0.9	1.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			1243.4	642.4	1231.1	1439.9
ADI比 (%)			1.5	2.6	1.4	1.7

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乗じた値を用いてEDI試算した。

米 (玄米をいう。) の暴露評価には、国際基準における「Rice (粳米)」のSTMRから基準値と同様の手法で算出した数値を用いた。

牛の脂肪及び肝臓のSTMRは、米国での肉牛における最大飼料由来負荷72.6 ppmを用いて算出した。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(新規：水稻、りんご等)
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	7月23日	インポートトレランス申請(ばれいしょ、ほうれんそう等)
平成20年10月	9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	3月6日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成21年	7月22日	初回農薬登録
平成21年	9月28日	残留基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：だいこん、かぶ等)
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請(米、かんきつ類、魚介類等)
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	9月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成24年12月	28日	残留基準告示
平成24年	4月16日	インポートトレランス申請(みかん、ラズベリー等)
平成24年	5月9日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：さといも、やまのいも等)
平成24年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年10月	24日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：かんしょ)
平成24年10月	31日	インポートトレランス申請(ひまわり(種子)、なたね等)
平成24年11月	12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	3月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年10月	22日	残留基準告示
平成26年	1月24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：オクラ及びしょうが)
平成26年	3月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	3月27日	インポートトレランス申請(小麦、たまねぎ等)
平成26年	6月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成26年12月24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年5月19日	残留基準告示
平成28年7月1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：せり科葉菜類(パセリを除く)及びパセリ)
平成28年11月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年4月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年9月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年5月30日	残留基準告示
令和3年5月25日	薬事・食品衛生審議会への諮問(基本原則の一部改訂に伴う残留基準設定)
令和3年6月16日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年6月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年7月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和3年12月17日	残留基準告示
令和6年9月2日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：レタス類)
令和7年11月19日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和7年11月28日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

クロラントラニリプロールについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

クロラントラニリプロール

今回残留基準を設定する「クロラントラニリプロール」の規制対象は、クロラントラニリプロールとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.1
小麦	6
大麦	6
ライ麦	6
とうもろこし	0.05
そば	6
その他の穀類 ^{注1)}	6
大豆	0.05
小豆類 ^{注2)}	0.7
えんどう	0.3
そら豆	0.3
らっかせい	0.06
その他の豆類 ^{注3)}	0.3
ばれいしょ	0.02
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05
かんしょ	0.02
やまいも（長いものをいう。）	0.05
こんにやくいも	0.02
その他のいも類 ^{注4)}	0.02
てんさい	0.02
さとうきび	14
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	40
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	20
西洋わさび	0.02
クレソン	20
はくさい	20

食品名	残留基準値 ppm
キャベツ	4
芽キャベツ	4
ケール	20
こまつな	20
きょうな	20
チンゲンサイ	20
カリフラワー	4
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	20
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.02
アーティチョーク	2
チコリ	30
エンダイブ	30
しゅんぎく	20
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 ^{注6)}	30
ねぎ（リーキを含む。）	3
にら	3
アスパラガス	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注7)}	3
にんじん	0.08
パースニップ	0.02
パセリ	15
セロリ	15
みつば	15
その他のせり科野菜 ^{注8)}	15
トマト	0.6
ピーマン	1
なす	0.7
その他のなす科野菜 ^{注9)}	20
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.3
しろうり	0.3
すいか（果皮を含む。）	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.3
まくわうり（果皮を含む。）	0.3

食品名	残留基準値 ppm
その他のうり科野菜 ^{注10)}	20
ほうれんそう	20
オクラ	0.7
しょうが	0.05
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	0.8
えだまめ	0.7
マッシュルーム	0.6
しいたけ	0.6
その他のきのこ類 ^{注11)}	0.6
その他の野菜 ^{注12)}	20
みかん（外果皮を含む。）	0.7
なつみかんの果実全体	0.7
レモン	0.7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	0.7
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実 ^{注13)}	0.7
りんご	1
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	1
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.4
もも（果皮及び種子を含む。）	3
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	1
おうとう（チェリーを含む。）	3
いちご	1
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	3
クランベリー	3
ハックルベリー	3
その他のベリー類果実 ^{注14)}	3

食品名	残留基準値 ppm
ぶどう	1
かき	0.3
アボカド	0.5
その他の果実 ^{注15)}	1
ひまわりの種子	2
ごまの種子	0.3
べにばなの種子	2
綿実	0.3
なたね	2
その他のオイルシード ^{注16)}	0.3
ぎんなん	0.02
くり	0.02
ペカン	0.02
アーモンド	0.02
くるみ	0.02
その他のナッツ類 ^{注17)}	0.02
茶	80
コーヒー豆	0.4
カカオ豆	0.08
ホップ	40
その他のスパイス ^{注18)}	90
その他のハーブ ^{注19)}	25
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注20)} の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.3
豚の脂肪	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3
牛の肝臓	0.3
豚の肝臓	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分 ^{注21)}	0.2
豚の食用部分	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2

食品名	残留基準値 ppm
乳	0.05
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん ^{注22)} の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.08
その他の家きんの脂肪	0.08
鶏の肝臓	0.07
その他の家きんの肝臓	0.07
鶏の腎臓	0.07
その他の家きんの腎臓	0.07
鶏の食用部分	0.07
その他の家きんの食用部分	0.07
鶏の卵	0.2
その他の家きんの卵	0.2
魚介類	0.05
はちみつ	0.05

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。

注12) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注13) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注14) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注15) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーベリーを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注16) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注17) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注18)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注19)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注20)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注21)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注22)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

クロラントラニリプロール

添付資料 1

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼及び畜産物への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：クロラントラニリプロール[Chlorantraniliprole (ISO)]

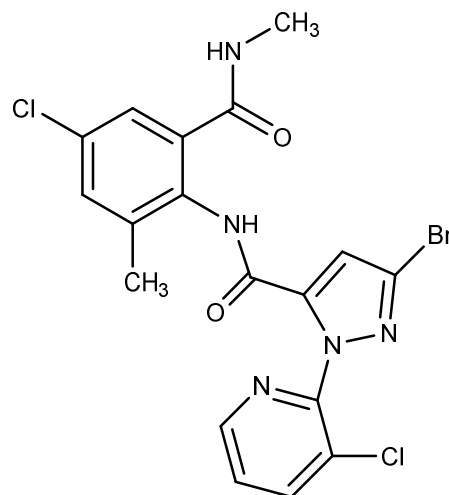
(2) 用 途：殺虫剤

アントラニリックジアミド系殺虫剤である。昆虫の筋小胞体膜のカルシウムチャネル(リアノジン受容体)に作用してカルシウムイオンを放出させ、筋収縮を起こすことにより殺虫効果を示すと考えられている。

(3) 化学名及び CAS 番号

3-Bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-(methylcarbamoyl)phenyl]-1-(3-chloropyridin-2-yl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (IUPAC)
 1*H*-Pyrazole-5-carboxamide, 3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-(methylamino)carbonyl]phenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-
 (CAS : No. 500008-45-7)

(4) 構造式及び物性



分 子 式	C ₁₈ H ₁₄ BrCl ₂ N ₅ O ₂
分 子 量	483.14
水溶解度	1.023 mg/L (20℃)
分配係数	log ₁₀ Pow = 2.76 (20℃)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】及び【適用病害虫名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

① 5.0%クロラントラニプロールフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ ネリムシ類 カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ ウバ類	500倍	苗地床 1㎡当たり2 L				
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ ウバ類 オタバコガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前 日 まで	3回以内	散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ カブラハバチ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	
かぶ							
非結球あぶら な科葉菜類 (タサイを除く)	コナガ						

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントリプロール を含む農薬の 総使用回数
タアサイ	コナガ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	
あすっこ	アオムシ						1 回
だいこん	コナガ アオムシ ヨトウムシ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	3 回以内
はつか だいこん	ハイダバラノメイガ カブラハバチ ハモグリバエ類				1回		1 回
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ				100倍		セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L
ブロッコリー		コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイダバラノメイガ	2000倍	100～300 L/10 a		収穫 前日 まで	
はなっこりー	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	3 回以内 (灌注は1回以 内、散布は2回以 内)
		2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントリプロール を含む農薬の 総使用回数
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類	1000～ 2000倍					
非結球 レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ヒメフタゲンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	
	ヨトウムシ ハスモンヨトリ オタハコガ ハモグリバエ類	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	
トマト	ハモグリバエ類	1000～ 2000倍					4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	オタハコガ	2000倍					
ミニトマト	ハモグリバエ類 コナジラミ類	100倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以 内、 散布は3回以内)
		200倍	1株当たり50 mL				
		100倍	1株当たり25 mL				
		200倍	1株当たり50 mL				
なす	ハスモンヨトリ ハモグリバエ類 ネキリムシ類	100倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハモグリバエ類	200倍	1株当たり50 mL				
とうがらし類	ハスモンヨトリ オタハコガ	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内
		2000倍			3回以内		
ピーマン	ハスモンヨトリ コナジラミ類	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以 内、 散布は2回以内)
					3回以内		
ピーマン	ハスモンヨトリ コナジラミ類	100倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以 内、 散布は2回以内)

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントニプロール を含む農薬の 総使用回数							
きゅうり	ハモグリバエ類	100～ 200倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)							
		200倍	1株当たり50 mL											
		1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布		3回以内						
	ウリノメイガ	2000倍							2回以内	2回以内				
ズッキーニ	ハモグリバエ類	1000倍					1回				1回			
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍										収穫 7日前 まで	1回	3回以内
とうがん	ハスモンヨトウ								3回以内	3回以内				
いちご					ヨトウムシ		1回	3回以内						
パセリ											せり科葉菜類 (パセリを除く)			
らっきょう	ハモグリバエ類	3回以内										3回以内		
ねぎ	シロイチモシヨトウ ネギコガ ハモグリバエ類			100倍	セル成型育苗トレイ1 箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L				育苗期 後半 ～定植 当日	1回			灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類													
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシクガイ ウコンノメイガ			4000倍	100～300 L/10 a		収穫 3日前 まで	3回以内	散布	3回以内				
だいず		16～32 倍	0.8 L/10 a	収穫7 日前ま で	2回以内	無人 ヘリコ プター による 散布	2回以内							

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントニリプロール を含む農薬の 総使用回数	
未成熟 そらまめ	ハモグリバエ類	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	3回以内	
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハモシヨトウ ハモグリバエ類	2000倍						4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
アマランサス (茎葉)	シロホノメイガ							
なばな	アオムシ ハモシヨトウ							
やまのいも	ハモシヨトウ ナガイモガ	3回以内						
かんしょ	ハモシヨトウ			2000～ 4000倍				
	ナジロシタバ			4000倍				
さといも アスパラガス ほうれんそう	ハモシヨトウ	2000倍		2回以内	2回以内			
モロヘイヤ								
バジル しそ								
えごま(葉) ふき				3回以内				
クレソン (土耕栽培)	コガ				3回以内			
ごま	オオタバコガ	2回以内						
とうもろ こし	アヲノメイガ オオタバコガ	3回以内		3回以内	3回以内			
オクラ	オオタバコガ ハモシヨトウ							
しょうが	ハモシヨトウ							

② 10.0%クロラントラニリプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ケムシ類 キンモンホリガ ギンモンハモグリガ ヒメボクトウ	2500～ 5000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	ヨモギエダシヤク	5000 倍					
なし	ケムシ類 シンクイムシ類	2500～ 5000 倍					
	ハマキムシ類 ヒメボクトウ	5000 倍					
かき	ハマキムシ類 ケムシ類 ヒロハリアオイラガ カキノハタムシガ ハスモンヨトウ フタモンマダラメイガ	5000 倍					
ぶどう	ハマキムシ類 ケムシ類 モンキクロノメイガ クビアカスシハ	5000 倍					
おうとう	ハマキムシ類 ケムシ類	2500～ 5000 倍					
	オウトウショウジ ヨウバエ	2500 倍					
	コスカシハ	5000 倍					
うめ	ケムシ類	2500～ 5000 倍					
	ハマキムシ類	2500 倍					
	ノコメガリキリガ	5000 倍					
すもも	シンクイムシ類	2500 倍		収穫 3 日 前まで			
あんず	ケムシ類 ハマキムシ類	2500～ 5000 倍					
		2500 倍					
もも	シンクイムシ類 ハマキムシ類	5000 倍		収穫前日まで	2 回 以内		2 回以内
ネタリン	モモハモグリガ		収穫 3 日 前まで				

② 10.0%クロラントラニリプロールフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
さとうきび	イネヨトリ	5000 倍	100～300 L/10 a	収穫 30 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内(粒剤は 1 回以内、水和剤は 3 回以内)
茶	チャノコカモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシヤク	2000 倍	200～400 L/10 a	摘採 3 日前まで	1 回	散布	1 回
	チャノホリガ	2000～4000 倍					
	ハスモンヨトリ	4000 倍					

③ 1.0%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり 50 g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	1回

④ 0.75%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマゲロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する	1 回
	ニカメイチュウ コブノメイガ フタホヒコヤガ イネツトムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	は種時 覆土前～移植 当日			
	イネトノオイムシ イネミスヅウムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	は種前		育苗箱の床土に均一に混和する	

⑤ 0.50%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	コナガ ハイマダラノメカ アオムシ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半 ～定植 当日	1 回	本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパー ポットの上から均一に散布 する	4 回以内 (定植時までの 処理は1 回 以内、散布は 3 回以内)	
		1 g/株	育苗期 後半～ 定植時		株元散布		
はくさい ブロッコリー	コナガ ハイマダラノメカ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半～ 定植当 日		本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパー ポットの上から均一に散布 する	4 回以内 (定植時までの 処理は1 回 以内、散布は 3 回以内)	
	アオムシ	1 g/株	育苗期 後半～ 定植時		株元散布		
レタス	ナメグリバエ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半 ～定植 当日		本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパー ポットの上から均一に散布 する		株元散布
	オタハコガ	1 g/株	育苗期 後半～ 定植時				
トマト	ネリムシ類						
きゅうり	ハメグリバエ類						
なす	ネリムシ類 ハメグリバエ類				3 回以内 (定植時までの 処理は1 回 以内、散布は 2 回以内)		
さとう きび	メチユウ類	4～6 kg/10 a			植付時	植溝土壌混和	4 回以内 (粒剤は1 回 以内、水和剤 は3 回以内)
			生育期 ただし 最終倍 土まで		株元散布		

⑥ 25.0%クロラントラニリプロール・12.5%アミスルブロム顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントリニプロールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネノメイシ イネミズウムシ	500 倍	育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり希釈液 500 ml	は種時～出 芽時 ただ し、移植 15 日前まで	1 回	土壌 灌注	1 回
		1000 倍	育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり希釈液 1 L				
	フタホトコヤカ ニカメチュウ	500 倍	育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり希釈液 500 ml	は種時			
	苗立枯病 (ヒシム菌)	1000 倍	育苗箱(30×60 ×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり希釈液 1 L				

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ムシ苗防止	500 倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり希釈液 500 ml	は種時～出芽時 ただし、移植 15 日前まで	1 回	土壌灌注	1 回
		1000 倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり希釈液 1 L				

⑦ 8.7%クロラントラニリプロール・17.5%チアメトキサムフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 アオムシ ハイマダラノメカイガ ネギアザミウマ ハスモンヨトウ コナガ ネリムシ類 ヨトウムシ	1000 倍	苗地床 1 m ² 当たり 2 L	は種時～育苗期後半	1 回	灌注	4 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
	アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ	200 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱又はペーパーポット 1 冊(約 30×60 cm、使用土壌約 1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日			
	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ハイマダラノメカイガ オタバコガ	4000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	
はくさい	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメカイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ キスジノミハムシ カブラハバチ	200 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱又はペーパーポット 1 冊(約 30×60 cm、使用土壌約 1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日	1 回	灌注	
	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメカイガ アブラムシ類 ハスモンヨトウ	4000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	
ブロッコリー	アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイガ	200 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱又はペーパーポット 1 冊(約 30×60 cm、使用土壌約 1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日	1 回	灌注	

⑦ 8.7%クロラントラニリプロール・17.5%チアメトキサムフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
レタス	アブラムシ類 カブラヤカ ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ナモグリハエ	200 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊 (約 30×60 cm、 使用土壌約 1.5～4 L) 当たり 0.5 L	育苗期 後半～ 定植当 日	1 回	灌注	4 回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
非結球 レタス	ナモグリハエ ヒメフタテンヨコバイ	200 倍					4 回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリハエ タマネギハエ タネハエ ネギリムシ類	200 倍					
なばな	アブラムシ類 ハスモンヨトウ コナガ アオムシ	200 倍					

⑧ 5.0%クロラントラニリプロール・2.0%エマメクチン安息香酸顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントリプ [®] ロ ールを含む農 薬の総使用 回数
キャベツ	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカイ タマナギンウワバ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	4 回以内(定 植時までの 処理は 1 回 以内、散布は 3 回以内)
はくさい	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメカイ						
ブロッコリー	コナガ アオムシ ヨトウムシ						
レタス	オオタバコガ ナモグリバエ			収穫 3 日前 まで	2 回 以内		4 回以内(灌 注は 1 回以 内、散布は 3 回以内)
非結球 レタス							
ねぎ	シロイモシヨトウ ネギハモグリバエ			収穫 7 日前 まで	3 回 以内		

⑧ 5.0%クロラントラニリプロール・2.0%エマメクチン安息香酸顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	ウリノメイガ トマトハモクグリバエ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2 回 以内	散布	4 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
かんしょ	ハスモンヨトウ			収穫 7 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
だいこん	アオムシ コナガ						
メロン	トマトハモクグリバエ						3 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、散布は 2 回以内)
なす	ハスモンヨトウ			収穫 前日 まで	2 回 以内		

⑨ 4.0%クロラントラニリプロール・15.0%ジノテフラン顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ アザミウマ類	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱又はペーパーポット 1 冊 (30×60 cm・使用土壌約 1.5～4.0 L) 当たり 0.5 L	定植前 日～定 植時	1 回	灌注	4 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
はくさい	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ						
ブロッコリー	コナガ アオムシ						
レタス	アブラムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ カブラヤカ ナモクグリバエ						

⑨ 4.0%クロラントラニリプロール・15.0%ジノテフラン顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
非結球 レタス	アブラムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ カブラヤガ ナメクリバエ	100 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊 (30×60 cm・使用土壌約 1.5～4.0 L) 当たり 0.5 L	定植前 日～定 植時	1 回	灌注	4 回以内(灌注は 1 回以内、散布は 3 回以内)
ねぎ	ハメクリバエ類 アザミヤカ類 シロイモシヨトウ						

⑩ 1.5%クロラントラニリプロール・48.0%プロベナゾール顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 いねづむシ いねむし	500 g/10 a	移植時	1 回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	1 回

⑪ 0.75%クロラントラニリプロール・24.0%プロベナゾール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネヌズムシ	1 kg/10 a	は種時	1 回	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 回
	いもち病 イネトオムシ		移植時		側条施用	
稲 (箱育苗)	コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 L) 1 箱当たり 50 g	移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。	
	もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 イネメハメグリバエ		移植 3 日前～移植当日			

⑪ 0.75%クロラントラニリプロール・24.0%プロベナゾール粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 ツマグロヨコバイ フタホシコガネ ネトノオムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり 50 g	緑化期～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回

(2) 海外での使用方法

① 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル（米国）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間 中の総使用 量	使用時期	使用方法
アーティチョーク	0.045-0.098 lb ai/A	4 回以内	0.2 lbs ai/A	収穫 3 日前まで	散布
アスパラガス	0.045-0.065			収穫前日まで	
鱗茎野菜類	lb ai /A				
あぶらな属 野菜	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内 (滴下処理は 2 回以 内、ただし既に植付 時土壌処理を行っ ている場合は 1 回以 内)	収穫 3 日前まで		植付時土壌処理
	0.045-0.098 lb ai /A			滴下処理	
穀類 (とうもろこし 及び稲を除く)	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内	収穫 14 日前まで	散布	
とうもろこし					
綿実	0.045-0.098 lb ai /A				収穫 21 日前まで
うり科野菜	0.026-0.09 lb ai /A				4 回以内 (滴下処理は 2 回以 内、ただし既に植付 時土壌処理を行っ ている場合は 1 回以 内)
	0.045-0.098 lb ai /A	滴下処理			
	果菜類	0.026-0.098 lb ai /A	散布		
0.045-0.098 lb ai /A		植付時土壌処理			
葉菜類 (あぶらな属 野菜を除く)	0.045-0.098 lb ai /A	滴下処理			
		植付時土壌処理			
		滴下処理			
		散布			

① 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル（米国）（つづき）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間 中の総使 用量	使用時期	使用方法
ハーブ類	0.045-0.065 lb ai /A	4 回以内	0.2 lb ai/A	収穫当日まで	散布
ホップ				収穫前日まで	
豆類 (大豆を除く)	0.045-0.098 lb ai /A			収穫 3 日前まで	
ミント	0.045-0.065 lb ai /A			収穫前日まで	
らっかせい				収穫 14 日前まで	
ばれいしょ				収穫 21 日前まで	
オイルシード				収穫前日まで	
スパイス類					
いちご				収穫 14 日前まで	
だいず					
さとうきび					
根菜類				収穫前日まで	

ai : active ingredient (有効成分)

② 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（米国）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
バナナ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内	0.2 lb ai /A	収穫前日まで	散布
ベリー類				収穫前日まで (caneberry は 収穫 3 日前まで)	
つる性果実類				収穫前日まで	
かんきつ類				収穫 7 日前まで	
コーヒー豆				収穫前日まで	
いちじく				収穫 14 日前まで	
ぶどう	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫 14 日前まで	
オリーブ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫前日まで	
かき					
仁果類	0.055-0.099 lb ai /A	4 回以内		収穫 5 日前まで (mayhaw は収穫 14 日前まで)	
ざくろ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内		収穫前日まで	
核果類				収穫 10 日前まで	
ナッツ類	0.044-0.099 lb ai /A	4 回以内			

② 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（米国）（つづき）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
トロピカルフルーツ	0.066-0.099 lb ai /A	3 回以内	0.2 lb ai /A	収穫前日まで (ただし、アセロラ、ジャボチババ、ライチ、パパイア、パッションフルーツは 収穫 10 日前まで)	散布

③ 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル（EU）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
なす	85 g ai/ha	3 回以内	255 g ai/ha	収穫 2 日前 まで	散布
キャベツ	55～70 g/ha		210 g ai/ha		
ブロッコリー					
きゅうり	85 g/ha		255 g ai/ha		
ズッキーニ					
レタス					
メロン	70～85 g/ha				
ピーマン					
トマト	85 g/ha				

④ 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（豪州）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の使用回数	使用時期	使用方法
ひよこ豆	31.5 g ai/ha	2 回以内	収穫 14 日前 まで	散布
緑豆				
だいず				

⑤ 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（ニュージーランド）

作物名	1 回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
アボカド	3.15 g ai/100 L	2 回以内	270 g ai/ha	収穫 14 日前 まで	散布

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

【国内】

試料からアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出、又はアセトンで抽出し、酢酸エチルに転溶する。SAX カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラム、スチレンジビニルベンゼン共重合体・C₁₈ 連結カラム又はフロリジルカラム及び PSA カラムを用いて精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、凝固法、フロリジルカラム及び PSA カラムを用いて精製した後、LC-MS で定量する。

または、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出し、SAX・HLB 連結カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム、フロリジルカラム、PSA カラム、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及び C₁₈ カラムを用いて精製し、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV) で定量する。

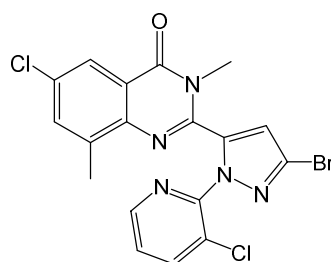
定量限界 0.01 ppm

【海外】

試料に水を加え、アセトニトリル及びヘキサンで抽出し、アセトニトリル層を採る。HLB カラムを用いて精製し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出する。SAXカラム及びHLBカラムを用いて精製した後、加熱してクロラントラニプロールを2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-3,8-ジメチル-4(3*H*)-キナゾリノン(以下、代謝物0という)に変換し、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ(GC-ECD)で定量する。

定量限界 0.01 ppm



代謝物0

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2～1-4 を参照。

4. 魚介類への推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数(BCF: Bioconcentration Factor)から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田 PECtier2^{注2)}及び非水田 PECtier1^{注3)}について算出したところ、水田 PECtier2 は 0.19 µg/L、非水田 PECtier1 は 0.0044 µg/L となったことから、水田 PECtier2 の 0.19 µg/L を採用した。

(2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール/水分配係数(log₁₀Pow)が 2.76 であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCF については実測値が得られていない。このため、log₁₀Pow から、回帰式(log₁₀BCF = 0.80 × log₁₀Pow - 0.52)を用いて 48.8 L/kg と算出された。

(3) 推定残留濃度

(1) 及び (2) の結果から、クロラントラニリプロールの水産動植物被害予測濃度：0.19 µg/L、BCF：48.8 L/kg とし、下記のとおり推定残留濃度が算出された。

$$\text{推定残留濃度} = 0.19 \mu\text{g/L} \times (48.8 \text{ L/kg} \times 5) = 0.04636 \text{ mg/kg} \div 0.05 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止にかかる農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. 畜産物への推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、農林水産省から畜産物に関する個別の残留基準の設定について要請されている。

このため、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・クロラントラニリプロール
- ・3-ブromo-N-[4-クロロ-2-[(ヒドロキシメチル)アミノ]カルボニル]-6-メチルフェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド
(以下、代謝物Cという)
- ・3-ブromo-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド
(以下、代謝物Dという)
- ・2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-(ヒドロキシメチル)-4(3H)-キナゾリノン
(以下、代謝物Eという)
- ・3-ブromo-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(ヒドロキシメチル)アミノ]

カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-カルボキサミド

(以下、代謝物Gという)

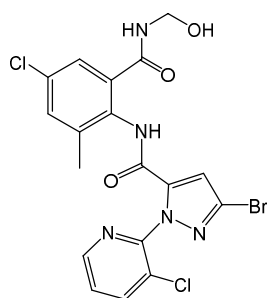
- *N*-[2-(アミノカルボニル)-4-クロロ-6-メチルフェニル]-3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-カルボキサミド

(以下、代謝物Mという)

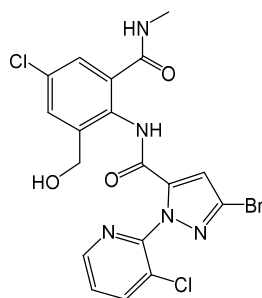
- 2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-メチル-4(3*H*)-キナゾリノン

(以下、代謝物Nという)

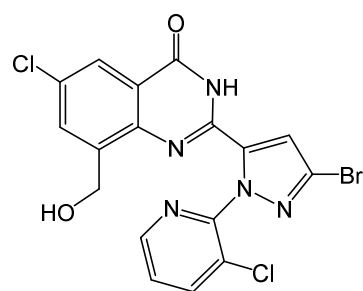
- 代謝物O



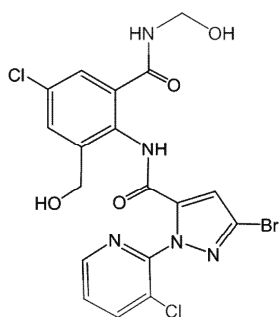
代謝物C



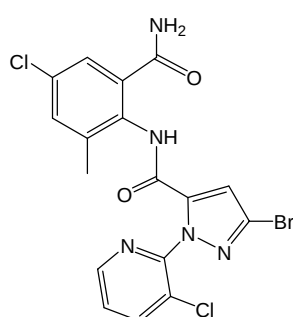
代謝物D



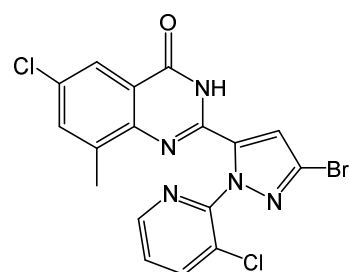
代謝物E



代謝物 G



代謝物 M



代謝物 N

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水・ヘキサン(4:1:2)混液で抽出し、SAX カラム又は HLB カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

牛の試料ではクロラントラニプロール、代謝物 D、G、N 及び O、鶏の試料ではクロラントラニプロール、代謝物 C、E、M、N 及び O を分析した。

定量限界 : 0.01 ppm

(2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

① 乳牛における残留試験

乳牛（3頭/群）に対して、飼料中濃度として1、3、10及び50 ppmに相当する量のクロラントラニリプロールを含有するゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、最終投与1日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニリプロール及び代謝物濃度を測定した（検出限界：筋肉：0.003 ppm、脂肪：0.004 ppm、肝臓：0.005 ppm、腎臓：0.003 ppm）。また、乳については、乳を最終投与の1、3、5、7、10、14、21及び28日後に搾乳し、14及び21日後に採取した乳よりスキムミルク及びクリーム試料を調製し、クロラントラニリプロール及び代謝物濃度を測定した（検出限界：0.003 ppm）。結果については表1を参照。ほとんどの試料からは代謝物N及び代謝物Oは検出されなかった。

表1. 組織中のクロラントラニリプロール及び代謝物の残留濃度（mg/kg）

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群	50 ppm 投与群
筋肉	クロラントラニリプロール	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.029 (0.021)
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.012 (0.011)
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
脂肪	クロラントラニリプロール	<0.01 (<0.01)	0.015 0.012	0.036 0.029	0.156 0.138
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.020 (0.013)
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
肝臓	クロラントラニリプロール	<0.01 (<0.01)	0.014 0.011	0.035 0.029	0.133 0.127
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.019 (0.017)	0.050 0.045
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
腎臓	クロラントラニリプロール	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.035 0.022	0.081 0.068
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	不明 0.005	0.011 0.010	0.042 0.039
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.014 0.012
乳 ^{注)}	クロラントラニリプロール	<0.01	<0.01	<0.01	0.022
	代謝物D	<0.01	<0.01	0.012	0.035
	代謝物G	<0.01	<0.01	<0.01	0.012
スキムミルク ^{注)}	クロラントラニリプロール	<0.01	<0.01	<0.01	0.016
	代謝物D	<0.01	<0.01	0.013	0.028
	代謝物G	<0.01	<0.01	<0.01	0.012

表 1. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群	50 ppm 投与群
クリーム ^{注)}	クロラントラニプロール	<0.01	0.013	0.026	0.108
	代謝物 D	<0.01	<0.01	0.08	0.275
	代謝物 G	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

注) 乳、スキムミルク及びクリームは平均的な残留濃度

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏（10羽/群）に対して、飼料中濃度として3、9及び30 ppmに相当する量のクロラントラニプロールを含有するゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させた後、筋肉、肝臓並びに皮膚及び脂肪に含まれるクロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した。また、鶏卵については、投与期間中毎日採卵し、3～6日毎にクロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した（定量限界：0.01 ppm）。結果については表2を参照。

表 2. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg)

投与量		3 ppm 投与群	9 ppm 投与群	30 ppm 投与群
摂餌量を考慮した投与量		4.8 ppm	18.8 ppm	51.9 ppm
筋肉	クロラントラニプロール	0.016 (0.011)	0.036 (0.027)	0.054 (0.049)
	代謝物 C	0.014 (0.010)	0.033 (0.028)	0.610 (0.052)
	代謝物 M	0.018 (0.013)	0.032 (0.031)	0.075 (0.064)
	代謝物 E	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 N	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 O	ND	ND	ND
肝臓	クロラントラニプロール	0.054 (0.038)	0.122 (0.092)	0.178 (0.147)
	代謝物 C	0.060 (0.042)	0.132 (0.113)	0.222 (0.199)
	代謝物 M	0.082 (0.062)	0.194 (0.153)	0.372 (0.286)
	代謝物 E	0.026 (0.021)	0.065 (0.060)	0.200 (0.159)
	代謝物 N	<0.010 (<0.010)	0.019 (0.018)	0.035 (0.031)
	代謝物 O	ND	ND	ND

表 2. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

投与量		3 ppm 投与群	9 ppm 投与群	30 ppm 投与群
摂餌量を考慮した投与量		4.8 ppm	18.8 ppm	51.9 ppm
皮膚及び脂肪	クロラントラニプロール	0.066 (0.043)	0.141 (0.095)	0.212 (0.168)
	代謝物 C	0.032 (0.019)	0.089 (0.068)	0.101 (0.092)
	代謝物 M	0.072 (0.046)	0.116 (0.103)	0.236 (0.204)
	代謝物 E	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 N	ND	<0.01 (<0.010)	0.018 (0.163)
	代謝物 O	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
鶏卵	クロラントラニプロール	0.162 (0.112)	0.512 (0.185)	0.680 (0.397)
	代謝物 C	0.077 (0.057)	0.220 (0.106)	0.490 (0.243)
	代謝物 M	0.071 (0.053)	0.193 (0.105)	0.365 (0.215)
	代謝物 E	0.015 (0.010)	0.033 (0.023)	0.077 (0.050)
	代謝物 N	0.069 (0.051)	0.183 (0.100)	0.375 (0.222)
	代謝物 O	0.028 (0.016)	0.073 (0.029)	0.100 (0.060)

ND：検出限界 (0.003 ppm) 未満

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

JMPRは肉牛及び乳牛におけるMDB^{注1)}をそれぞれ36 ppm 及び30 ppmと評価している。また、STMR dietary burdenをそれぞれ18 ppm及び17 ppmと評価している。また、家きんでは、産卵鶏及び肉用鶏においてMDBとSTMR dietary burdenをそれぞれ4.8 ppm及び1.454 ppm、3.6 ppm及び0.869 ppmと評価している。

日本では肉牛及び乳牛におけるMDBをそれぞれ17.17 ppm 及び5.97 ppmと評価している。また、家きんでは、産卵鶏及び肉用鶏においてMDBとSTMR dietary burdenを1.38 ppm 及び1.90 ppmと評価している。

注1)最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB)：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

注2)平均飼料負荷 (STMR dietary burden又はmean dietary burden)：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に(作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(3) 推定残留濃度

乳牛、肉牛及び産卵鶏について、JMPR の MDB 及び STMR dietary burden と各試験にお

ける投与量から、畜産物中の推定最大残留濃度を算出した。結果については表 4-1 及び 4-2 を参照。

表 4-1. 畜産物中の推定残留濃度；牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.019 (0.0091)	0.098 (0.048)	0.083 (0.026)	0.058 (0.030)	0.013 (0.008)
肉牛	0.022 (0.0094)	0.117 (0.051)	0.097 (0.028)	0.065 (0.031)	

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

表 4-2. 畜産物中の推定残留濃度；鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	卵
肉用鶏	0.005 (0.002)	0.02 (0.008)	0.016 (0.007)	—	
産卵鶏	0.016 (0.008)	0.066 (0.032)	0.054 (0.029)	—	0.162 (0.08)

—：分析せず。

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

6. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（1）ADI

無毒性量：158 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄マウス

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 18 か月間

安全係数：100

ADI：1.5 mg/kg 体重/day

（2）ARfD 設定の必要なし

クロラントラニリプロールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったため、急性参照用量 (ARfD) は設定する必要がないと判断した。

7. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価が行われ、2008 年に ADI が設定され、ARfD は設定の必要なしとされている。国際基準は穀類、葉菜類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、びわ等に、カナダにおいてりんご、あんず等に、EU においてりんご、ナッツ類等に、豪州においてぶどう、レタス等に、ニュージーランドにおいてアボカド、ばれいしょ

等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロラントラニリプロールとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてクロラントラニリプロール(親化合物のみ)を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI／ADI (%) ^{注)}
一般(1 歳以上)	5.0
幼小児(1～6 歳)	9.6
妊婦	4.9
高齢者(65 歳以上)	5.5

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	1.0% 粒剤	50 g/箱 育苗箱処理	1	119	圃場A: <0.01
					137	圃場B: <0.01
未成熟とうもろこし(子実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
とうもろこし (乾燥子実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 191-200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
だいず (乾燥子実)	2	5.0% フロアブル	4000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: 0.03 (3回, 7日) (#) 注2)
						圃場B: <0.01 (3回, 7日) (#)
	2		16倍 0.8 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	2	7, 14, 21	圃場A: 0.01
						圃場B: 0.01
さといも (塊茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 166, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
かんしょ (塊根)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 180, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
やまのいも (塊茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 195, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
さとうきび	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 222, 243 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
(茎)	2	0.50%粒剤+ 10.0%フロアブル	6kg株元 散布+ 5000倍散布 278, 200 L/10 a	1+3	30, 45, 60	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
だいこん (葉部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A: 1.78
					1, 3, 7, 14	圃場B: 1.29
だいこん (根部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15	圃場A: <0.01
					1, 3, 7, 14	圃場B: <0.01
はつかだいこん (茎部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A: 6.62 (1回, 3日)
						圃場B: 6.50
はつかだいこん (根部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A: <0.01
						圃場B: <0.01
かぶ (葉部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 3.21
						圃場B: 3.36
かぶ (根部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.02 (3回, 14日)
						圃場B: 0.03
クレソン (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 3.08
						圃場B: 1.22
キャベツ (葉球)	4	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 250~300, 202 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.12 (4回, 7日)
					1, 3, 7, 14	圃場B: 0.12 (4回, 3日)
						圃場C: 0.04
						圃場D: 0.76
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理+ 2000倍 散布 231, 281 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.32 (4回, 3日)
						圃場B: 0.36
はくさい (茎葉)	4	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.26 (4回, 3日)
					1, 3, 7, 14	圃場B: 0.46 (4回, 3日)
						圃場C: 0.36
						圃場D: 0.10 (4回, 3日)
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 2000倍 散布 278-292, 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.29
						圃場B: 2.00
こまつな (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 3.18
						圃場B: 1.29
みずな (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 5.76
						圃場B: 1.02
チンゲンサイ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 180, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 0.54
						圃場B: 1.80
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 70~150 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.20 (4回, 3日)
						圃場B: 0.10 (4回, 3日) (#)
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 250, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.65 (4回, 1日) (#)
						圃場B: 0.37 (4回, 1日) (#)
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 +2000倍 散布 273, 160~250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.30
						圃場B: 0.30

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
カリフラワー (花蕾)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300, 210 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.26 (3回, 3日) 圃場B : <0.01
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 267, 250, 271 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.18
はなっこりー (茎葉)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 圃場B : 0.52
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A : 2.73 圃場B : 2.70
レタス (茎葉)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.00 (4回, 7日) 圃場B : 0.60 (4回, 3日)
	2		100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 223, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.26 圃場B : 0.80
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 +1000倍 散布 250~258, 278~279 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.94 (4回, 3日) 圃場B : 1.28
	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 1.83 圃場B : 6.70
リーフレタス (茎葉)	2		100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 150, 193.3 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 6.98 圃場B : 8.46
	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 2.40 (2回, 3日) 圃場B : 2.31
サラダ菜 (茎葉)	2		100倍500m L/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 193.3, 200 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 5.82 圃場B : 8.63
ふき (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.19 圃場B : 0.29
	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.21 圃場B : 0.66
ねぎ (茎葉)	2		100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍散布 192, 180 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09 圃場B : 0.26
アスパラガス (若茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.02 圃場B : 0.02
	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200, 397 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 5.62 圃場B : 6.10 (#)
コリアンダー (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 176, 183 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A : 1.98 圃場B : 1.18
トマト (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.04 (4回, 7日) 圃場B : 0.19
	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +2000倍 散布 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.12 (4回, 3日) 圃場B : 0.07
ピーマン (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200, 250 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.22 圃場B : 0.38
	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A : 0.06 圃場B : 0.26
ししとう (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 281, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.12 (4回, 1日) (#) 圃場B : 2.50 (4回, 1日) (#)
	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 180, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.04 (4回, 1日) (#) 圃場B : 1.26 (4回, 1日) (#)

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ボット灌注 +1000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.05 圃場B : 0.07
すいか (果肉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
すいか (果皮)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.33 圃場B : 0.14
メロン (果肉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
メロン (果皮)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 (3回, 3日) 圃場B : 0.48 (3回, 3日)
とうがん (果実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 152.4, 182.65~182.86 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.10 (3回, 14日) 圃場B : 4.66
オクラ (果実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 280, 225~275 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.15 圃場B : 0.27
しょうが (根茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 166, 178~180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.01 (3回, 7日) 圃場B : <0.01
さやえんどう (さや)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200, 181 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.26 圃場B : 0.13
さやいんげん (さや)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 168~194, 183 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.19 圃場B : 0.14 (3回, 7日)
えだまめ (さや)	2	5.0% フロアブル	4000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.14 圃場B : 0.32
未成熟そらまめ (さや)	2	5.0% フロアブル	1000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : <0.01
ごま (種子)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.03
モロヘイヤ (茎葉)	3	5.0% フロアブル	2000倍 散布 480, 420, 750 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7	圃場A : 14.4 (2回, 1日) (#) 圃場B : 8.32 (2回, 1日) (#) 圃場C : 7.26 (2回, 1日) (#)
えごま (葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 6.80 圃場B : 13.6
りんご (果実)	4	10.0% フロアブル	2500倍 散布 600, 500, 500, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.31 (3回, 3日) 圃場B : 0.10 (3回, 3日) 圃場C : 0.37 圃場D : 0.18
なし (果実)	4	10.0% フロアブル	2500倍 散布 400, 700, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.16 (3回, 3日) 圃場B : 0.18 (3回, 3日) 圃場C : 0.33 圃場D : 0.17
もも (果肉)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.02 (2回, 3日) 圃場B : <0.01 (2回, 3日)
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
もも (果皮)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.67 (2回, 3日) 圃場B : 0.70 (2回, 3日)
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.42 圃場B : 1.34
ネクタリン (果実)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08
あんず (果実)	2	10.0% フロアブル	2500倍 散布 625, 400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.62 圃場B : 0.32 (3回, 14日)
すもも (果実)	2	10.0% フロアブル	2500倍 散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.04 (3回, 14日) 圃場B : 0.08
うめ (果実)	2	10.0% フロアブル	2500倍 散布 313, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.44 圃場B : 0.32
おうとう (果実)	4	10.0% フロアブル	2500倍 散布 700, 500, 417, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.38 (3回, 3日) 圃場B : 0.23 (3回, 3日) 圃場C : 0.12 圃場D : 0.18

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちご (果実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.23 圃場B : 0.30
ぶどう (果実)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 300, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.16 (3回, 3日) 圃場B : 0.51 (3回, 3日)
かき (果実)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.07 圃場B : 0.07 (3回, 7日)
茶 (荒茶)	2	10.0% フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 29.8 圃場B : 38.6
茶 (浸出液)	2	10.0% フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6
バジル (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 8.08 圃場B : 5.86
しそ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 7.76 圃場B : 17.3
らっきょう (鱗茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
あすつこ (花・花茎)	2	5.0% フロアブル	100倍 500 mL/セルトレイ灌注	1	82, 89, 96	圃場A : <0.02 (1回, 82日) 圃場B : <0.02 (1回, 82日)
アマランサス (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.83 圃場B : 3.25
なばな (茎葉)	2	8.7%フロアブル +5.0%フロアブル	200倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 1.00 圃場B : 0.50

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	49 g ai/ha散布	3	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : <0.003 (#) 注2)
	1	35%顆粒水和剤	50~52 g ai/ha散布	3	0, 7, 15, 21, 28	圃場A : <0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	74~76 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	76 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 7, 14, 21	圃場A : <0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	380 g ai/ha散布	3	14	圃場A : 0.003 (#)
	21	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha散布	3	14	圃場A : ND (#)
						圃場B : ND (#)
						圃場C : ND (#)
						圃場D : ND (#)
						圃場E : ND (#)
						圃場F : ND (#)
						圃場G : 0.004 (#)
						圃場H : ND (#)
						圃場I : ND (#)
						圃場J : ND (#)
						圃場K : ND (#)
						圃場L : ND (#)
						圃場M : ND (#)
						圃場N : ND (#)
						圃場O : ND (#)
						圃場P : ND (#)
						圃場Q : 0.003 (#)
						圃場R : ND (#)
						圃場S : ND (#)
						圃場T : 0.003 (#)
						圃場U : ND (#)
	4	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha散布	3	15	圃場A : 0.003 (#)
	11	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	3	圃場A : 0.64 (#)
						圃場B : 0.28 (#)
						圃場C : 0.033 (#)
						圃場D : 0.51 (#)
						圃場E : 0.48 (#)
						圃場F : 0.066 (#)
						圃場G : 0.29 (#)
						圃場H : 1.1 (#)
						圃場I : 0.75 (#)
						圃場J : 2.9
						圃場K : 2.2
	1	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha散布	2	4	圃場A : 0.10 (#)
	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	3	圃場A : 0.037 (#)
						圃場B : 0.078 (#)
						圃場C : 0.077 (#)
ブロッコリー (花蕾)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 0.67 (2回, 1日) (#)
	8	18.4%フロアブル	109~116 g ai/ha 散布	2	3	圃場A : 0.32 (#)
						圃場B : 0.30 (#)
						圃場C : 0.40 (#)
						圃場D : 0.38 (#)
						圃場E : 0.32 (#)
						圃場F : 0.41 (#)
						圃場G : 0.35 (#)
						圃場H : 0.12 (#)
						圃場A : 1.7 (#)
						圃場B : 4.6 (#)
からしな (茎葉)	8	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2	3	圃場C : 1.2 (#)
						圃場D : 5.6 (#)
						圃場E : 2.9 (#)
						圃場F : 3.7 (#)
						圃場G : 4.8 (#)
						圃場H : 2.2 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (茎葉) (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	111~113 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 0.56 (#)
	6	18.4%フロアブル	109~115 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 2.4 (#)
						圃場B : 1.3 (#)
						圃場C : 0.43 (#)
						圃場D : 2.2 (#)
						圃場E : 0.012 (#)
レタス (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場F : 0.004 (#)
						圃場A : 0.47 (#)
						圃場B : 0.043 (#)
リーフレタス (茎葉)	7	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2	1	圃場C : 0.39 (#)
						圃場A : 6.2 (#)
						圃場B : 3.2 (#)
						圃場C : 3.9 (#)
						圃場D : 4.5 (#)
						圃場E : 5.3 (#)
セルリー (茎葉) (外葉あり)	7	18.4%フロアブル	112~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場F : 4.0 (#)
						圃場G : 3.9 (#)
						圃場A : 0.99 (#)
						圃場B : 2.6 (#)
						圃場C : 2.1 (#)
						圃場D : 3.6 (#)
セルリー (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	112~114 g ai/ha 散布	2	1	圃場E : 2.1 (#)
						圃場F : 1.4 (#)
						圃場G : 3.6 (#)
ほうれんそう (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110~113 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 2.5 (#)
	6	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場B : 0.25 (#)
						圃場C : 0.19 (#)
						圃場A : 3.7 (#)
						圃場B : 6.8 (#)
						圃場C : 8.6 (#)
トマト (果実)	19	18.4%フロアブル	113 g ai/ha散布	2	1	圃場D : 7.4 (#)
						圃場E : 5.6 (#)
						圃場F : 8.9 (#)
						圃場G : 7.3 (#)
						圃場A : 0.14 (#)
						圃場B : 0.071 (#)
						圃場C : 0.040 (#)
						圃場D : 0.018 (#)
						圃場E : 0.032 (#)
						圃場F : 0.040 (#)
						圃場G : 0.032 (#)
						圃場H : 0.18 (#)
						圃場I : 0.14 (#)
						圃場J : 0.092 (#)
						圃場K : 0.14 (#)
						圃場L : 0.044 (#)
						圃場M : 0.059 (#)
						圃場N : 0.051 (#)
						圃場O : 0.061 (#)
						圃場P : 0.11 (#)
ピーマン (果実)	11	18.4%フロアブル	105~119 g ai/ha 散布	2	1	圃場Q : 0.095 (#)
						圃場R : 0.10 (#)
						圃場S : 0.082 (#)
						圃場A : 0.11 (#)
						圃場B : 0.069 (#)
						圃場C : 0.024 (#)
						圃場D : 0.090 (#)
						圃場E : 0.013 (#)
						圃場F : 0.022 (#)
						圃場G : 0.019 (#)
						圃場H : 0.11 (#)
						圃場I : 0.13 (#)
						圃場J : 0.18 (#)
						圃場K : 0.14 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)						
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数							
とうがらし (果実)	9	18.4%フロアブル	109～119 g ai/ha 散布	2	1	圃場A：0.21(＃)						
						圃場B：0.019(＃)						
						圃場C：0.035(＃)						
						圃場D：0.066(＃)						
						圃場E：0.059(＃)						
						圃場F：0.41(＃)						
						圃場G：0.063(＃)						
						圃場H：0.13(＃)						
						圃場I：0.069(＃)						
きゅうり (果実)	1	18.4%フロアブル	118～119 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A：0.022(＃)						
	6	18.4%フロアブル	109～124 g ai/ha 散布	2	1	圃場A：0.076(＃)						
						圃場B：0.011(＃)						
						圃場C：0.015(＃)						
						圃場D：0.006(＃)						
						圃場E：0.012(＃)						
						圃場F：0.076(＃)						
						カンタロープ (果実)	6	18.4%フロアブル	110～121 g ai/ha 散布	2	1	圃場A：0.090(＃)
												圃場B：0.027(＃)
圃場C：0.065(＃)												
圃場D：0.10(＃)												
圃場E：0.081(＃)												
圃場F：0.052(＃)												
マスクメロン (果実)	1	18.4%フロアブル	113～114 g ai/ha散布	2	1							圃場A：0.010(＃)
ペボカボチャ (果実)	6	18.4%フロアブル	108～121 g ai/ha 散布	2	1							圃場A：0.017(＃)
												圃場B：0.081(＃)
						圃場C：0.023(＃)						
						圃場D：0.054(＃)						
						圃場E：0.076(＃)						
						圃場F：0.040(＃)						
りんご (果実)	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A：0.13(＃)						
	13	35%顆粒水和剤	111～118 g ai/ha 散布	2	14	圃場A：0.022(＃)						
						圃場B：0.056(＃)						
						圃場C：0.11(＃)						
						圃場D：0.074(＃)						
						圃場E：0.038(＃)						
						圃場F：0.010(＃)						
						圃場G：0.012(＃)						
						圃場H：0.088(＃)						
						圃場I：0.045(＃)						
						圃場J：0.093(＃)						
						圃場K：0.061(＃)						
						圃場L：0.23(＃)						
圃場M：0.078(＃)												
	3	35%顆粒水和剤	109～113 g ai/ha 散布	2	15	圃場A：0.073(＃)						
						圃場B：0.072(＃)						
						圃場C：0.030(＃)						
なし (果実)	1	35%顆粒水和剤	113～115 g ai/ha散布	2	10	圃場A：0.054(＃)						
	3	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2	13	圃場A：0.033(＃)						
						圃場B：0.059(＃)						
						圃場C：0.085(＃)						
	7	35%顆粒水和剤	112～113 g ai/ha 散布	2	14	圃場A：0.026(＃)						
						圃場B：0.070(＃)						
						圃場C：0.10(＃)						
						圃場D：0.016(＃)						
						圃場E：0.12(＃)						
						圃場F：0.13(＃)						
圃場G：0.070(＃)												

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	116.13～115.71 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 10, 14	圃場A : 0.158 (#)
	1	35%顆粒水和剤	111.69～112.42 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 11, 15	圃場A : 0.318 (#)
	2	35%顆粒水和剤	110.69～112.34 g ai/ha 散布	2	9	圃場A : 0.0720 (#) 圃場B : 0.125 (#)
	9	35%顆粒水和剤	111.37～113.65 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.247 (#) 圃場B : 0.144 (#) 圃場C : 0.132 (#) 圃場D : 0.165 (#) 圃場E : 0.0639 (#) 圃場F : 0.0916 (#) 圃場G : 0.101 (#) 圃場H : 0.0827 (#) 圃場I : 0.122 (#)
	3	35%顆粒水和剤	112.42～115.47 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.106 (#) 圃場B : 0.891 (#) 圃場C : 0.142 (#)
	3	35%顆粒水和剤	110.35～115.85 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.114 (#) 圃場B : 0.132 (#) 圃場C : 0.101 (#)
	4	35%顆粒水和剤	109.77～115.87 g ai/ha 散布	2	11	圃場A : 0.0897 (#) 圃場B : 0.105 (#) 圃場C : 0.309 (#) 圃場D : 0.183 (#)
すもも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111～112 g ai/ha散布	2	0, 5, 10, 14, 21	圃場A : 0.004 (2回, 10日) (#)
	10	35%顆粒水和剤	105～112g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.026 (#) 圃場B : 0.017 (#) 圃場C : 0.067 (#) 圃場D : 0.066 (#) 圃場E : 0.006 (#) 圃場F : 0.015 (#) 圃場G : 0.006 (#) 圃場H : 0.007 (#) 圃場I : 0.007 (#) 圃場J : 0.009 (#)
	3	35%顆粒水和剤	108～111 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.011 (#) 圃場B : 0.022 (#) 圃場C : 0.049 (#)
	3	35%顆粒水和剤	112～118 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.011 (#) 圃場B : 0.029 (#) 圃場C : 0.076 (#)
おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2	9	圃場A : 0.11 (#) 圃場B : 0.18 (#)
	6	35%顆粒水和剤	111～112 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.26 (#) 圃場B : 0.10 (#) 圃場C : 0.056 (#) 圃場D : 0.36 (#) 圃場E : 0.21 (#) 圃場F : 0.45 (#)
	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.15 (#) 圃場B : 0.48 (#)
	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.19 (#) 圃場B : 0.57 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	115.60～118.95 g ai/ha散布	2	1, 2, 7, 13, 23	圃場A : 0.0403 (#)
	1	35%顆粒水和剤	111.85～112.01 g ai/ha散布	2	1, 4, 7, 15, 20	圃場A : 0.429 (#)
	2	35%顆粒水和剤	111.08～115.15 g ai/ha散布	2	13	圃場A : 0.522 (#) 圃場B : 0.199 (#)
	10	35%顆粒水和剤	108.82～114.80 g ai/ha散布		14	圃場A : 0.0826 (#) 圃場B : 0.0415 (#) 圃場C : 0.0933 (#) 圃場D : 0.175 (#) 圃場E : 0.335 (#) 圃場F : 0.257 (#) 圃場G : 0.108 (#) 圃場H : 0.0440 (#) 圃場I : 0.0426 (#) 圃場J : 0.0364 (#)
	2	35%顆粒水和剤	111.69～114.06 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	14	圃場A : 0.0442 (#) 圃場B : 0.0445 (#)
	2	35%顆粒水和剤	112.25～114.86 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	14	圃場A : 0.0909 (#) 圃場B : 0.0408 (#)
	3	35%顆粒水和剤	107.90～114.01 g ai/ha散布	2	15	圃場A : 0.477 (#) 圃場B : 0.119 (#) 圃場C : 0.189 (#)
	1	35%顆粒水和剤	108.12～108.26 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	15	圃場A : 0.371 (#)
	1	35%顆粒水和剤	107.90～108.35 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	15	圃場A : 0.461 (#)
綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110～118 g ai/ha散布	2	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.078 (#)
	1	35%顆粒水和剤	110～112 g ai/ha散布	2	0, 6, 14, 20, 25	圃場A : 0.34(2回, 6日) (#)
	1	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布	2	20	圃場A : 0.016 (#)
	7	35%顆粒水和剤	109～114 g ai/ha散布	2	21	圃場A : 0.022 (#) 圃場B : 0.029 (#) 圃場C : 0.047 (#) 圃場D : 0.082 (#) 圃場E : 0.049 (#) 圃場F : 0.13 (#) 圃場G : 0.083 (#)
	3	35%顆粒水和剤	110～114 g ai/ha散布	2	22	圃場A : 0.031 (#) 圃場B : 0.054 (#) 圃場C : 0.081 (#)
	1	35%顆粒水和剤	112～113 g ai/ha散布	2	23	圃場A : 0.006 (#)
	5	35%顆粒水和剤	109～113 g ai/ha散布	2	21	圃場A : 12 (#) 圃場B : 6.4 (#) 圃場C : 3.3 (#) 圃場D : 4.1 (#) 圃場E : 2.4 (#)
	2	35%顆粒水和剤	110～114 g ai/ha散布	2	22	圃場A : 1.1 (#) 圃場B : 13 (#)
グリーンピーン (さや)	5	35%顆粒水和剤	59.66～60.52 g ai/ha散布	2	0, 1, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 (2回, 1日) (#) 圃場B : 0.13(2回, 1日) (#) 圃場C : 0.19 (#) 圃場D : 0.15(2回, 1日) (#) 圃場E : 0.13(2回, 日) (#)
	4	35%顆粒水和剤	57.72～61.59 g ai/ha散布	2	1	圃場A : 0.11 (#) 圃場B : 0.081 (#) 圃場C : 0.11 (#) 圃場D : 0.30 (#)
	6	35%顆粒水和剤	38.86～40.91 g ai/ha散布	2	1, 3	圃場A : 0.088 (#) 圃場B : 0.25 (#) 圃場C : 0.093 (#) 圃場D : 0.16 (#) 圃場E : 0.19 (#) 圃場F : 0.024 (#)
	4	35%顆粒水和剤	38.12～40.86 g ai/ha散布	2	1	圃場A : 0.055 (#) 圃場B : 0.031 (#) 圃場C : 0.12 (#) 圃場D : 0.083 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	110~112 g ai/ha散布	2	13	圃場A : ND (#)
	1	18.4%フロアブル	559~567g ai/ha散布	2	13	圃場A : ND (#)
	4	18.4%フロアブル	105~112 g ai/ha 散布	2	14	圃場A : ND (#) 圃場B : ND (#) 圃場C : ND (#) 圃場D : ND
	2	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	2	15	圃場A : 0.005 (#) 圃場B : 0.009 (#)
	1	18.4%フロアブル	554~567 g ai/ha散布	2	15	圃場A : ND (#)
	2	18.4%フロアブル	0.100~0.109 lb ai/A 散布	4	13	圃場A : <0.010 (#) 圃場B : <0.010 (#)
	10	18.4%フロアブル	0.095~0.109 lb ai/A 散布	4	14	圃場A : <0.010 (#) 圃場B : <0.010 (#) 圃場C : <0.010 (#) 圃場D : <0.010 (#) 圃場E : <0.010 (#) 圃場F : <0.010 (#) 圃場G : <0.010 (#) 圃場H : <0.010 (#) 圃場I : <0.010 (#) 圃場J : <0.010 (#)
	1	18.4%フロアブル	0.099~0.103 lb ai/A散布	4	15	圃場A : <0.010 (#)
	1	18.4%フロアブル	0.101 lb ai/A散布	5	14	圃場A : <0.010 (#)
とうもろこし (茎葉)	14	18.4%フロアブル	0.098~0.104 lb ai/A 散布	2	13	圃場A : 5.4 (#) 圃場B : 5.315 (#) 圃場C : 2.615 (#) 圃場D : 0.69 (#) 圃場E : 12.04 (#) 圃場F : 3.635 (#) 圃場G : 3.955 (#) 圃場H : 0.824 (#) 圃場I : 2.085 (#) 圃場J : 2.075 (#) 圃場K : 7.69 (#) 圃場L : 4.52 (#) 圃場M : 7.1 (#)
					15	圃場N : 2.36 (#)
	7	18.4%フロアブル	0.094~0.104 lb ai/A 散布	2	13	圃場A : 1.7 (#)
					14	圃場B : 3.1 (#) 圃場C : 3.1 (#) 圃場D : 2.8 (#) 圃場E : 3.7 (#)
					15	圃場F : 2.2 (#) 圃場G : 3.8 (#)
稲 (穀粒)	1	51.85%フロアブル	550 g ai/ha土壌処理	2	113	圃場A : 0.063 (#)
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha散布	2	116	圃場A : 0.040 (#)
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	117	圃場A : 0.057 (#)
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha散布	2	120	圃場A : 0.010 (#)
	1	51.85%フロアブル	546 g ai/ha土壌処理	2	120	圃場A : 0.049 (#)
	1	51.85%フロアブル	1077 g ai/ha土壌処理	2	120	圃場A : 0.037 (#)
	4	51.85%フロアブル	560 g ai/ha散布	2	122	圃場A : 0.051 (#) 圃場B : 0.050 (#) 圃場C : 0.072 (#) 圃場D : 0.087 (#)
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	123	圃場A : 0.029 (#)
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	127	圃場A : 0.052 (#)
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	130	圃場A : 0.028 (#)
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	134	圃場A : 0.030 (#)
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	138	圃場A : 0.046 (#)
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha散布	2	143	圃場A : 0.033 (#)
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	148	圃場A : 0.031 (#)
	1	51.85%フロアブル	1121 g ai/ha土壌処理	2	148	圃場A : 0.048 (#)
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	20 g ai/ha散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 3.080 (#)
	1	5%フロアブル	40 g ai/ha散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 11.036 (#)
ブラックベリー (果実)	2	35%顆粒水和剤	0.097~0.100 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 0.049 圃場B : 0.436

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ラズベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.099～0.103 lb ai/A 散布	2	1, 3, 7, 10	圃場A : 0.0902
	5	35%顆粒水和剤	0.100～0.105 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 0.235
						圃場B : 0.481
						圃場C : 0.482
						圃場D : 0.513
いちご (果実)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.095
						圃場A : 0.23
ブルーベリー (果実)	9	35%顆粒水和剤	0.198～0.212 lb ai/A 散布	2	1	圃場B : 0.30
						圃場A : 0.176 (#)
						圃場B : 0.122 (#)
						圃場C : 0.163 (#)
						圃場D : 0.108 (#)
						圃場E : 0.206 (#)
						圃場F : 0.132 (#)
						圃場G : 0.749 (#)
	1	35%顆粒水和剤	0.198～0.212 lb ai/A 散布	2	1, 3, 6, 13	圃場H : 0.840 (#)
						圃場I : 0.181 (#)
ミント (茎葉)	5	35%顆粒水和剤	0.097～0.103 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 0.234 (#)
						圃場A : 0.460 (#)
						圃場A : 4.61 (#)
						圃場B : 4.64 (#)
						圃場C : 5.68 (#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha散布	3	7, 21	圃場D : 5.33 (#)
						圃場E : 2.22 (#)
	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha散布	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.098
アーモンド (可食部)	5	35%顆粒水和剤	111～114 g ai/ha 散布	2	10	圃場B : 0.115
						圃場A : 0.188
						圃場B : 0.205
						圃場A : 0.006 (#)
						圃場B : 0.007 (#)
ペカン (可食部)	5	35%顆粒水和剤	112～114 g ai/ha 散布	2	10	圃場C : 0.004 (#)
						圃場D : 0.006 (#)
						圃場E : 0.004 (#)
						圃場A : 0.008 (#)
						圃場A : 0.015 (#)
なたね (種子)	6	18.4%フロアブル	219～231 g ai/ha散布	1	1	圃場A : 0.003 (#)
						圃場B : 0.003 (#)
						圃場C : 0.007 (#)
						圃場D : 0.014 (#)
						圃場E : 0.009 (#)
ひまわり (種子)	6	18.4%フロアブル	219～230 g ai/ha散布	1	1	圃場A : 1.0
						圃場B : 0.83
						圃場C : 0.14
						圃場D : 0.25
						圃場E : 0.34
さやいんげん	9	18.4%フロアブル	0.192～0.204 lb ai/A 散布	2	1	圃場F : 0.23
						圃場A : 0.79
						圃場B : 0.12
						圃場C : 0.21
						圃場D : 0.030
さやえんどう	4	18.4%フロアブル	0.201～0.205 lb ai/A 散布	2	1	圃場E : 0.82
						圃場F : 0.16
						圃場A : 0.136
						圃場B : 0.123
						圃場C : 0.097
さやえんどう	4	18.4%フロアブル	0.201～0.205 lb ai/A 散布	2	1	圃場D : <0.01
						圃場E : 0.118
						圃場F : 0.407
						圃場G : 0.145
						圃場H : 0.161
さやえんどう	4	18.4%フロアブル	0.201～0.205 lb ai/A 散布	2	1	圃場I : 0.121
						圃場A : 0.640
						圃場B : 0.476
						圃場C : 0.444
						圃場D : 0.611

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいず (乾燥子実)	1	18.4%フロアブル	0.1 lb ai/A散布	2	1	圃場A : 0.19
ラディッシュ (葉部)	6	18.4%フロアブル	0.200~0.208 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 11
						圃場B : 10
						圃場C : 17
						圃場D : 6.8
						圃場E : 3.8
ラディッシュ (根部)	6	18.4%フロアブル	0.200~0.208 lb ai/A 散布	2	1	圃場F : 18
						圃場A : 0.23
						圃場B : 0.031
						圃場C : 0.051
						圃場D : 0.046
ねぎ	5	18.4%フロアブル	0.199~0.203 lb ai/A 散布	2	1	圃場E : 0.027
						圃場F : 0.071
						圃場A : 0.653
						圃場B : 0.406
						圃場C : 0.787
らっかせい	6	18.4%フロアブル	0.200 lb ai/A散布	2	1	圃場D : 1.49
						圃場E : 0.717
						圃場A : 0.004
						圃場B : 0.012
						圃場C : <0.003
大麦	3	18.4%フロアブル	0.200~0.207 lb ai/A 散布	2	1	圃場D : 0.003
						圃場E : <0.003
						圃場F : 0.034
ソルガム	3	18.4%フロアブル	0.200~0.202 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 1.96
						圃場B : 1.91
						圃場C : 1.93
小麦	5	18.4%フロアブル	0.201~0.209 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 1.16
						圃場B : 1.49
						圃場C : 0.786
ザクロ	5	35%顆粒水和剤	0.194~0.206 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.225
						圃場B : 0.192
						圃場C : 0.183
						圃場D : 0.254
						圃場E : 0.409
ババイヤ	1	35%顆粒水和剤	0.207 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 7, 10, 14	圃場A : 0.101
						圃場B : 0.0972
						圃場C : 0.0899
						圃場D : 0.125
						圃場E : 0.119
ライチ	1	35%顆粒水和剤	0.200 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 6, 9, 13	圃場A : 0.288
おうとう	1	35%顆粒水和剤	0.199 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 6, 10, 15	圃場A : 0.451
ディル (種子)	2	18.4%フロアブル	0.100~0.101 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.171
						圃場A : 17.6
						圃場B : 24.3

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (＃)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
ND : not detected (検出限界0.003 ppm未満)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ひよこ豆	2	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : <0.005 圃場B : 0.14
緑豆	2	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.42 圃場B : 0.32
だいず	3	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.013 圃場B : <0.005 圃場C : 0.027
スナッペンとう	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 6, 14	圃場A : 0.47 (2回, 14日)
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 6, 14	圃場A : 1.32 (2回, 14日)
さやえんどう	2	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09 圃場B : 0.03
	2	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.24 圃場B : 0.11
グリーンピース	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 12	圃場A : <0.01
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 12	圃場A : <0.01
さやいんげん	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 7	圃場A : 0.31
いんげんまめ	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7	圃場A : 0.11
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 7	圃場A : 0.24

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表 (ニュージーランド)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アボカド	1	35%顆粒水和剤	94.5 g ai/ha散布	<u>2</u>	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.16 (2回, 7日) (#) 注2)
	1	35%顆粒水和剤	94.5 g ai/ha散布	<u>2</u>	14	圃場A : 0.15
	1	35%顆粒水和剤	189 g ai/ha散布	3	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.34 (3回, 1日) (#)
	1	35%顆粒水和剤	189 g ai/ha散布	3	<u>14</u>	圃場A : 0.31

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
小麦	6	6		0.02	6.0	米国 【0.183-0.409(n=5)(小麦) (1.91,1.93,1.96)(大麦) (0.786,1.16,1.49)(ソルガム)(米国)】
大麦	6	6		0.02	6.0	米国 【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
ライ麦	6	6		0.02	6.0	米国 【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
とうもろこし	0.6	0.6	○	0.6		
そば	6	6		0.02	6.0	米国 【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
その他の穀類	6	6		0.02	6.0	米国 【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
大豆	0.2	0.2	○	0.05		<0.01,0.03(\$)
小豆類	1	1				【0.32,0.42(緑豆)(豪州)】
えんどう	1	1				【小豆類参照】
そら豆	1	1				【小豆類参照】
らっかせい	0.06	0.06		0.06	0.06	米国 【<0.003-0.034(n=6)(米国)】
その他の豆類	1	1				【小豆類参照】
ばれいしょ	0.02	0.02		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
かんしょ	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
こんにゃくいも	0.02	0.02		0.02		
その他のいも類	0.02	0.02		0.02		
てんさい	0.02	0.02		0.02		
さとうきび	14	14	○	0.5	14	米国 【0.69-12.04(#)(n=21) (とうもろこし茎葉)(米国)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.5	0.5	○	0.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	40	40	○	40		
かぶ類の根	0.2	0.2	○	0.02		0.02,0.03(\$)
かぶ類の葉	20	20	○	20		
西洋わさび	0.02	0.02		0.02		
クレソン	20	20	○	20		
はくさい	20	20	○	20		
キャベツ	4	4	○	2	4.0	米国 【0.033-1.1(n=11) (外葉あり)、0.037,0.077,0.078 (外葉なし)(米国)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0	米国 【米国キャベツ参照】
ケール	20	20	○	20		
こまつな	20	20	○	20		
きょうな	20	20	○	20		
チンゲンサイ	20	20	○	20		
カリフラワー	4	4	○	2	4.0	米国 【米国キャベツ参照】
ブロッコリー	4	4	○	2	4.0	米国 【米国キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	20	20	○	20		
ごぼう	0.02	0.02		0.02		
サルシフィー	0.02	0.02		0.02		
アーティチョーク	2	4		2		
チコリ	20	20		20		
エンダイブ	20	20		20		
しゅんぎく	20	20		20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20	20	○	20		
その他のきく科野菜	20	20	○	20		
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○		3.0	米国 【0.406-1.49(n=5)(米国)】
にら	3	3			3.0	米国 【米国ねぎ参照】
アスパラガス	0.1	0.1	○			0.02,0.02
その他のゆり科野菜	3	3	○		3.0	米国 【米国ねぎ参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
にんじん	0.08	0.08		0.08		
パースニップ	0.02	0.02		0.02		
パセリ	15	13	○・申			5.62,6.10(#)(%)
セロリ	15	13	申	7		【パセリ参照】
みつば	15		申			【パセリ参照】
その他のせり科野菜	15	13	申	0.02		【パセリ参照】
トマト	0.7	0.7	○	0.6		※1
ピーマン	1	1	○	0.6	1 EU	0.22,0.38
なす	0.7	0.7	○	0.6		0.06,0.26(\$)
その他のなす科野菜	20	20	○	20		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
しろうり	0.3	0.3		0.3		
すいか※2	0.1	0.1	○			
メロン類果実※2	0.1	0.1	○			
まくわり※2	0.1	0.1				
その他のうり科野菜	20	20	○	20		
ほうれんそう	20	20	○	20		
オクラ	0.7	0.7	○	0.6		0.15,0.27
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,0.01
未成熟えんどう	2	2	○	2		
未成熟いんげん	2	0.8	○	2		
えだまめ	1	1	○			0.14,0.32(\$)
マッシュルーム	0.6	0.6		0.6		
しいたけ	0.6	0.6		0.6		
その他のきのこ類	0.6	0.6		0.6		
その他の野菜	20	20	○	20		
みかん※3	0.2	0.1				
なつみかんの果実全体	0.7	0.5		0.7		
レモン	0.7	0.5		0.7		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.5		0.7		
グレープフルーツ	0.7	0.5		0.7		
ライム	0.7	0.5		0.7		
その他のかんきつ類果実	0.7	0.5		0.7		
りんご	1	1	○	0.4	1.2 米国	【0.010(#)-0.23(#)(n=17)(米国)】
日本なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【米国西洋なし参照】
西洋なし	1	1	○	0.4	1.2 米国	【0.016(#)-0.13(#)(n=11)(米国)】
マルメロ	1	1		0.4	1.2 米国	【米国りんご及び西洋なし参照】
びわ	0.4	0.4				
もも※4	0.4	0.4	○		4.0 米国	【0.0639(#)-0.891(#)(n=23)(米国)】
ネクタリン	4	4	○	1	4.0 米国	【米国もも、すもも、おうとう参照】
あんず(アブリコットを含む。)	4	4	○	1	4.0 米国	【米国もも、すもも、おうとう参照】
すもも(ブルーベリーを含む。)	4	4	○	1	4.0 米国	【0.004(#)-0.076(#)(n=17)(米国)】
うめ	1	1	○	1		0.32, 0.44
おうとう(チェリーを含む。)	1	1	○	1		【0.056(#)-0.57(#)(n=12)(米国)】
いちご	1	1	○	1		
ラズベリー	2	2		1	1.8 米国	【0.0902(#)-0.513(#)(n=6)(米国)】
ブラックベリー	2	2		1	1.8 米国	【0.049(#),0.436(#)(n=2)(米国)】
ブルーベリー	3	3		1	2.5 米国	【0.108(#)-0.840(#)(n=11)(米国)】
クランベリー	3	3		1	2.5 米国	【米国ブルーベリー参照】
ハuckleベリー	3	3		1	2.5 米国	【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	3	3		1	2.5 米国	【米国ブルーベリー参照】
ぶどう	2	2	○	1		0.16,0.51(\$)
かき	0.3	0.3	○			0.07,0.07
アボカド	0.5	0.5			0.5 ニュージーランド	【0.15-0.34(#)(n=4)(ニュージーランド)】
その他の果実	1	1		1		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
ひまわりの種子	2	2	○	2	2.0	米国	【0.030-0.82(n=6)(米国)】
ごまの種子	0.3	0.3					【米国綿実参照】
べにばなの種子	2	2			2.0	米国	【米国ひまわり及びなたね参照】
綿実	0.3	0.3		0.3	0.3	米国	【0.006-0.34(＃)(n=14) (米国)】
なたね	2	2		2	2.0	米国	【0.14-1.0(n=6)(米国)】
その他のオイルシード	0.3	0.3					【米国綿実参照】
ぎんなん	0.02	0.02		0.02			
ぐり	0.02	0.04		0.02			
ペカン	0.02	0.04		0.02			
アーモンド	0.02	0.04		0.02			
くるみ	0.02	0.04		0.02			
その他のナッツ類	0.02	0.04		0.02			
茶	50	50	○				29.8,38.6(荒茶)
コーヒー豆	0.4	0.4		0.05	0.4	米国	【0.098-0.205(n=4)(米国)】
カカオ豆※5	0.08	0.08			0.08	米国	【米国カカオ豆基準値参照】
ホップ	40	40		40			
その他のスパイス	90	90					【17.6,24.3(デ'イル(種子))(米国)】
その他のハーブ	25	25	○	20			7.76,17.3(\$)(しそ)
牛の筋肉	0.2	0.2		0.2			推:0.02
豚の筋肉	0.2	0.2		0.2			【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.2			【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.3	0.3		0.2			推:0.12
豚の脂肪	0.3	0.3		0.2			【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.2			【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.3	0.3		0.2			推:0.10
豚の肝臓	0.3	0.3		0.2			【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.2			【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2			推:0.07
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2			【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2			【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2			【牛の腎臓参照】
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2			【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2			【牛の腎臓参照】
乳	0.05	0.05		0.05			推:0.01
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02			推:0.016
その他の家さんの筋肉	0.02	0.02		0.02			
鶏の脂肪	0.08	0.01	申	0.08			推:0.066
その他の家さんの脂肪	0.08	0.01	申	0.08			
鶏の肝臓	0.07	0.02	申	0.07			推:0.054
その他の家さんの肝臓	0.07	0.02	申	0.07			
鶏の腎臓	0.07	0.02		0.07			
その他の家さんの腎臓	0.07	0.02		0.07			
鶏の食用部分	0.07	0.02		0.07			
その他の家さんの食用部分	0.07	0.02		0.07			
鶏の卵	0.2	0.2		0.2			推:0.162
その他の家さんの卵	0.2	0.2		0.2			

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
魚介類	0.05	0.05			⋮	推:0.05

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※1平成21年3月当時の米国基準値を参照した現行基準値を維持する。

※2すいか、メロン類果実及びまくわうりにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.3(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※3みかんにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.24(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※4ももにおいては、米国の残留基準に国内残留試験より算出した加工係数0.1(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※5カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

クロラントラニリプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.05	8.2	4.3	5.3	9.0
小麦	6	358.8	265.8	414.0	299.4
大麦	6	31.8	26.4	52.8	26.4
ライ麦	6	0.6	0.6	3.0	0.6
とうもろこし	0.6	2.8	3.2	3.6	2.6
そば	6	6.6	3.0	10.8	6.6
その他の穀類	6	1.2	0.6	0.6	1.8
大豆	0.2	7.8	4.1	6.3	9.2
小豆類	1	2.4	0.8	0.8	3.9
えんどう	1	0.1	0.1	0.1	0.1
そら豆	1	0.7	0.2	0.8	0.8
らっかせい	0.06	0.1	0.0	0.0	0.1
その他の豆類	1	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.3	0.1	0.1	0.4
かんしょ	0.05	0.3	0.3	0.6	0.5
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.2	0.0	0.1	0.2
こんにゃくいも	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
さとうきび	14	1374.8	1170.4	1737.4	1402.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.5	16.5	5.7	10.3	22.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	40	68.0	24.0	124.0	112.0
かぶ類の根	0.2	0.6	0.2	0.0	1.0
かぶ類の葉	20	6.0	2.0	2.0	12.0
西洋わさび	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	2.0	2.0	2.0	2.0
はくさい	20	354.0	102.0	332.0	432.0
キャベツ	4	96.4	46.4	76.0	95.2
芽キャベツ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
ケール	20	4.0	2.0	2.0	4.0
こまつな	20	100.0	36.0	128.0	128.0
きょうな	20	44.0	8.0	28.0	54.0
チンゲンサイ	20	36.0	14.0	36.0	38.0
カリフラワー	4	2.0	0.8	0.4	2.0
ブロッコリー	4	20.8	13.2	22.0	22.8
その他のあぶらな科野菜	20	68.0	12.0	16.0	96.0
ごぼう	0.02	0.1	0.0	0.1	0.1
サルシフィー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	0.2	0.2	0.2	0.2
チコリ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
エンダイブ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
しゅんぎく	20	30.0	6.0	52.0	50.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	192.0	88.0	228.0	184.0
その他のきく科野菜	20	30.0	2.0	12.0	52.0
ねぎ (リーキを含む。)	3	28.2	11.1	20.4	32.1
にら	3	6.0	2.7	5.4	6.3
アスパラガス	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3
その他のゆり科野菜	3	1.8	0.3	0.6	3.6
にんじん	0.08	1.5	1.1	1.8	1.5
パースニップ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	1.5	1.5	1.5	3.0
セロリ	15	18.0	9.0	4.5	18.0
みつば	15	6.0	1.5	1.5	7.5
その他のせり科野菜	15	3.0	1.5	4.5	4.5
トマト	0.7	22.5	13.3	22.4	25.6

クロラントラニリプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ピーマン	1	4.8	2.2	7.6	4.9
なす	0.7	8.4	1.5	7.0	12.0
その他のなす科野菜	20	22.0	2.0	24.0	24.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	6.2	2.9	4.3	7.7
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	2.8	1.1	2.4	3.9
しろうり	0.3	0.2	0.0	0.0	0.3
すいか	0.1	0.8	0.6	1.4	1.1
メロン類果実	0.1	0.4	0.3	0.4	0.4
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	20	54.0	24.0	12.0	68.0
ほうれんそう	20	256.0	118.0	284.0	348.0
オクラ	0.7	1.0	0.8	1.0	1.2
しょうが	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
未成熟えんどう	2	3.2	1.0	0.4	4.8
未成熟いんげん	2	4.8	2.2	0.2	6.4
えだまめ	1	1.7	1.0	0.6	2.7
マッシュルーム	0.6	0.3	0.2	0.7	0.1
しいたけ	0.6	3.6	1.8	1.9	4.4
その他のきのこ類	0.6	6.1	2.8	6.3	6.8
その他の野菜	20	268.0	126.0	202.0	282.0
みかん	0.2	3.6	3.3	0.1	5.2
なつみかんの果実全体	0.7	0.9	0.5	3.4	1.5
レモン	0.7	0.4	0.1	0.1	0.4
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	4.9	10.2	8.8	2.9
グレープフルーツ	0.7	2.9	1.6	6.2	2.5
ライム	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	0.7	4.1	1.9	1.8	6.7
りんご	1	24.2	30.9	18.8	32.4
日本なし	1	6.4	3.4	9.1	7.8
西洋なし	1	0.6	0.2	0.1	0.5
マルメロ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.4	0.2	0.1	0.8	0.2
もも	0.4	1.4	1.5	2.1	1.8
ネクタリン	4	0.4	0.4	0.4	0.4
あんず (アブリコットを含む。)	4	0.8	0.4	0.4	1.6
すもも (ブルーンを含む。)	4	4.4	2.8	2.4	4.4
うめ	1	1.4	0.3	0.6	1.8
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.4	0.7	0.1	0.3
いちご	1	5.4	7.8	5.2	5.9
ラズベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブラックベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブルーベリー	3	3.3	2.1	1.5	4.2
クランベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
ハuckleベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	3	0.3	0.3	0.6	0.3
ぶどう	2	17.4	16.4	40.4	18.0
かき	0.3	3.0	0.5	1.2	5.5
アボカド	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2
その他の果実	1	1.2	0.4	0.9	1.7
ひまわりの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ごまの種子	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
べにばなの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
綿実	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	2	11.8	7.4	10.8	9.2
その他のオイルシード	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

クロラントラニリプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	50	330.0	50.0	185.0	470.0
コーヒー豆	0.4	1.3	0.0	0.1	1.0
カカオ豆	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	40	4.0	4.0	4.0	4.0
その他のスパイス	90	9.0	9.0	9.0	18.0
その他のハーブ	25	22.5	7.5	2.5	35.0
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	12.9	19.3	12.3
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.3	0.4	0.2	1.4	0.3
陸棲哺乳類の乳類	0.05	13.2	16.6	18.2	10.8
家さんの肉類	0.08	1.7	1.2	1.8	1.3
家さんの卵類	0.2	8.3	6.6	9.6	7.6
魚介類	0.05	4.7	2.0	2.7	5.7
計		4119.9	2386.0	4303.7	4642.7
ADI比 (%)		5.0	9.6	4.9	5.5

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(新規：水稻、りんご等)
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	7月23日	インポートトレランス申請(ばれいしょ、ほうれんそう等)
平成20年	10月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	7月22日	初回農薬登録
平成21年	9月28日	残留農薬基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：だいこん、かぶ等)
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請(米、かんきつ類、魚介類等)
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	12月28日	残留農薬基準告示
平成24年	4月16日	インポートトレランス申請(みかん、ラズベリー等)
平成24年	5月9日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：さといも、やまのいも等)
平成24年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	10月24日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：かんしょ)
平成24年	10月31日	インポートトレランス申請(ひまわり(種子)、なたね等)
平成24年	11月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	10月22日	残留農薬基準告示
平成26年	1月24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：オクラ及びしょうが)
平成26年	3月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	3月27日	インポートトレランス申請(小麦、たまねぎ等)
平成26年	6月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成27年	5月19日	残留農薬基準告示

平成28年	7月	1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：せり科葉菜類(パセリを除く)及びパセリ)
平成28年	11月	14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	4月	18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年	8月	25日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成29年	9月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
[委員]

○ 梶山 浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上 浩一	立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
折戸 謙介	麻布大学獣医学部生理学教授
魏 民	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	元 一般財団法人残留農薬研究所理事
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申(案)

クロラントラニプロール

食品名	残留基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	
小麦	6	
大麦	6	注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
ライ麦	6	
とうもろこし	0.6	
そば	6	
その他の穀類 ^{注1)}	6	注2)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイ豆、ライマ豆及びレンズを含む。
大豆	0.2	
小豆類 ^{注2)}	1	
えんどう	1	
そら豆	1	注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
らっかせい	0.06	
その他の豆類 ^{注3)}	1	
ばれいしょ	0.02	
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	注4)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにやくいも以外のものをいう。
かんしょ	0.05	
やまいも(長いものをいう。)	0.05	
こんにやくいも	0.02	
その他のいも類 ^{注4)}	0.02	
てんさい	0.02	
さとうきび	14	
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	
だいこん類(ラディッシュを含む。)	40	
かぶ類の根	0.2	
かぶ類の葉	20	
西洋わさび	0.02	
クレソン	20	
はくさい	20	
キャベツ	4	
芽キャベツ	4	注5)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
ケール	20	
こまつな	20	
きょうな	20	
チンゲンサイ	20	
カリフラワー	4	
ブロッコリー	4	
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	20	
ごぼう	0.02	
サルシフィー	0.02	注6)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。
アーティチョーク	2	
チコリ	20	
エンダイブ	20	
しゅんぎく	20	
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	
その他のきく科野菜 ^{注6)}	20	

食品名	残留基準値 ppm
ねぎ(リーキを含む。) にら アスパラガス その他のゆり科野菜 ^{注7)}	3 3 0.1 3 注7)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜 ^{注8)}	0.08 0.02 15 15 15 15 注8)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 ^{注9)}	0.7 1 0.7 20 注9)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) しろうり すいか メロン類果実 まくわうり その他のうり科野菜 ^{注10)}	0.3 0.3 0.3 0.1 0.1 0.1 20 注10)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
ほうれんそう オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	20 0.7 0.05 2 2 1 注11)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類 ^{注11)}	0.6 0.6 0.6 注12)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
その他の野菜 ^{注12)}	20
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実 ^{注13)}	0.2 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 注13)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	1 1 1 1 0.4
もも ネクタリン あんず(アブリコットを含む。) すもも(プルーンを含む。) うめ おうとう(チェリーを含む。)	0.4 4 4 4 1 1

食品名	残留基準値 ppm	
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー その他のベリー類果実 ^{注14)}	1 2 2 3 3 3 3	注14)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。 注15)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
ぶどう かき	2 0.3	
アボカド	0.5	
その他の果実 ^{注15)}	1	
ひまわりの種子 ごまの種子 べにばなの種子 綿実 なたね その他のオイルシード ^{注16)}	2 0.3 2 0.3 2 0.3	注16)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。
ぎんなん くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類 ^{注17)}	0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02	注17)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ^{注18)} ホップ	50 0.4 0.08 40	注18) カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。 注19)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
その他のスパイス ^{注19)} その他のハーブ ^{注20)}	90 25	
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注21)} の筋肉	0.2 0.2 0.2	注20)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3 0.3 0.3	注21)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3 0.3 0.3	
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2 0.2 0.2	
牛の食用部分 ^{注22)} 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2 0.2 0.2	注22)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
乳	0.05	
鶏の筋肉 その他の家きん ^{注23)} の筋肉	0.02 0.02	注23)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

食品名	残留基準値 ppm
鶏の脂肪 その他の家さんの脂肪	0.08 0.08
鶏の肝臓 その他の家さんの肝臓	0.07 0.07
鶏の腎臓 その他の家さんの腎臓	0.07 0.07
鶏の食用部分 その他の家さんの食用部分	0.07 0.07
鶏の卵 その他の家さんの卵	0.2 0.2
魚介類	0.05